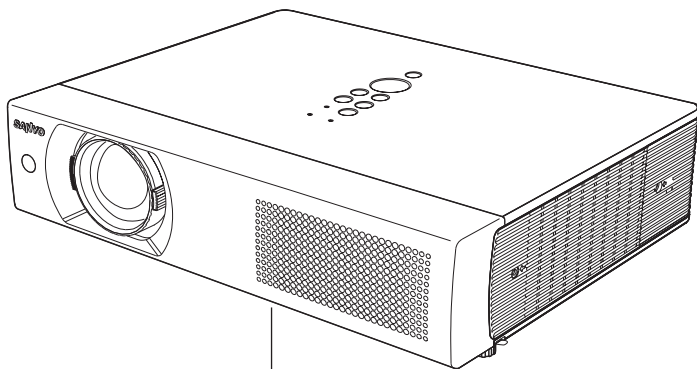
取扱説明書

液晶プロジェクター
品番 LP-XU106

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。とくに 4 ～ 14 ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。わからないことがあったときなどにお役に立ちます。
お買い上げ商品の品番は底面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください

品番表示（底面）

取扱説明書について：
本機のネットワーク機能の操作については、別冊の取扱説明書をご覧ください。
■取扱説明書（別冊）
ネットワークの接続と操作のしかた
PJ Network Manager (SNMP マネージャーソフトウェア) [Windows 版]

取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

LP-XU106 の特長

1024x768ドット高解像度液晶パネルを採用

1.6倍ズームレンズを採用

XGA画像をリアル表示、SXGA,SXGA+,WSXGA+, WXGA,UXGA,WUXGAを圧縮表示

コーナー補正機能で設置範囲が拡大

- ❏ 上下左右のデジタルキーストーン（台形補正）機能のほか、コーナー補正機能で、斜めからの投映でも投映画面の歪みの補正が可能。

″ら・く・ら・く″セットアップ機能

- ❏ 上下方向の台形歪みを補正するオートキーストーン補正と自動入力信号サーチ、自動 PC 調整、ガイダンス機能で初心者でも簡単にすばやくセットアップできます。

使用後すぐに持ち運びができるイージーオフ機能

- ❏ ファンの停止を待たずに、電源コードを抜くことができます。

好きな画像を取り込んでオリジナルの起動画面を作成できるキャプチャー機能

暗証番号を登録してセキュリティ強化

- ❏「ロゴ暗証番号ロック」と「暗証番号ロック」機能で、第三者の不正使用や誤作動を防ぐことができます。

電力の節約を助けるパワーマネージメントモード

さまざまな設置方法に対応

- ❏ 据置
- ❏ 天吊り
- ❏ リア投映
- ❏ 垂直方向 360 度全方位投映

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

- ❏ コンピュータの信号の判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャン システム」と「自動 PC 調整」機能。
- ❏ 見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投映できる「デジタルズーム」機能。（コンピュータモード時）
- ❏ 投映画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタル キーストーン (台形補正)」機能。
- ❏ 画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
- ❏ 画面を一時的に消す「NO SHOW」機能。
- ❏ プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER (プレゼンテーション タイマー)」機能。
- ❏「アンプ・スピーカ」内蔵で音響施設のない出先等でもプレゼンテーションが可能。
- ❏ 音声を一時的に消す「MUTE」機能。
- ❏「黒（緑）板」「カラーボード」モードでスクリーンがなくても黒（緑）板や色のついた壁などに投映して通常のスクリーンに投映したときの色合いを再現。

有線LAN機能

- ❏ ネットワーク経由でプロジェクターの操作・管理が可能。

～本説明書中の記号について～	
(注意マーク)	操作上の注意事項や制限事項を記載しています。
(電球マーク)	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
(指マーク)	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
[ボタン] 名	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタン名称を示しています。　例：[SELECT] ボタン、[COMPUTER IN 1] 端子
「メニュー」名	メニューの項目を示しています。　例:「オートセットアップ」、「ファン制御」

✻ 本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

もくじ

＊ネットワーク機能の使い方は、別冊の取扱説明書をご参照ください

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
	注意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

■絵表示の例

	注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。 △の中に具体的な注意内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「感電注意」を意味します。
	してはいけない行為（禁止事項）を示しています。 ⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「分解禁止」を意味します。
	しなければならない行為を示しています。 ●の中に具体的な指示内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「電源プラグをコンセントから抜け」を意味します。

⚠ 警告

警　告

電源プラグをコンセントから抜け

下記のような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

・煙が出ている
・変なにおいや音がする
・水など液体が本機の内部に入った
・金属類や異物が本機の内部に入った
・画面が映らない
・大きな音が出てランプが消えた

禁　止

故障したまま使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

警　告

電源プラグをコンセントから抜け

万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

分解禁止

禁　止

本機のキャビネットは外さないでください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

禁　止

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。
※ 1 つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐタコ足配線もしないで下さい。

⚠ 警告

禁　止　水ぬれ禁止

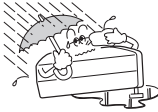
本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

こぼれたり、中に入った場合、火災･感電の原因となります。

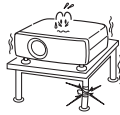
風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

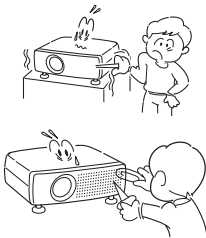
禁　止

不安定な場所や荷重に耐えられないところに置かないでください。

ぐらついた台の上や、傾いた所、高い棚の上など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

警　告

「天吊り」設置をするときは、専用の金具が必要です。

取り付けが不十分なときは落下する危険があり、事故やけがの原因となります。設置工事も専門の技術者にご依頼ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

禁　止

吸気口・排気口や接点部などに異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

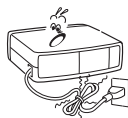
- ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。
- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れないでください。

感電の原因となります。

⚠ 警告

禁　止

電源コードの取扱に注意してください。

・電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。
コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
コードを敷物で覆うと、それに気付かず重い物をのせてしまうことがあります。
・電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
コードが破損して、火災・感電の原因となります。
・コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。
・電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くには特にご注意を）
・電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
・電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。

禁　止

本機やリモコンを改造しないでください。

火災・感電の原因となります。

アース線を接続せよ

アース線を接地してください。

本機は接地端子の付いた 3 ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を接地してください。（詳しくは、29 ページをご覧ください。）

禁　止

可燃性の溶剤やエアースプレーを、プロジェクターやその近くで絶対に使用しないで下さい。

ランプの点灯により製品内部が非常に高温になっているため、電源を抜いた後でも爆発、火災が発生することがあります。また、可燃性のエアスプレーでなくとも冷気により内部部品が故障するおそれがあります。

⚠ 警告

使用中はレンズをのぞかないでください。

強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。吸気口や排気口ものぞかないでください。

⚠ 注意

以下のような場所には置かないでください。

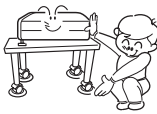
火災・感電の原因となることがあります。

・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。

ご使用のときは、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。
吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

・設置のときは、ファンの排気口を壁から 1 メートル以上あけてください。
・空調設備の排気ダクト付近などに設置しないでください。
・次のような使い方はしないでください。
　* 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
　* 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
　* じゅうたんや布団の上に置く。
　* テーブルクロスなどを掛ける。

また、壁など、周囲のものから じゅうぶんにはなし、風通しをよくしてください。（上方 20cm 以上、側面 50cm 以上、排気口・後面各 1m 以上）

キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。

動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

禁　止

本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。

特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁　止

電源コードを熱器具に近づけないでください。

コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、電源コードにご注意下さい。

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、移動してください。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になることがあります。また、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを
コンセントから
抜け

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

感電の原因となることがあります。

長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。

⚠ 注 意

長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。

掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。
持ち運ぶときは、レンズの保護のためにレンズキャップをはめ調整脚を収納してから、専用のケースに納めて持ち運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。
輸送用の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

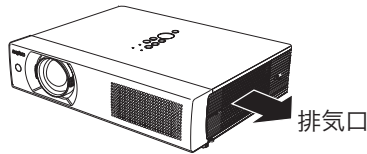
● 付属キャリングケースについて ●
付属のキャリングケースはプロジェクターを持ち運ぶとき、ホコリ等による汚れの防止と、キャビネット表面保護のためです。キャリングケースはプロジェクターを外部からの衝撃から保護する様に設計されていません。キャリングケースに入れて持ち運ぶとき、衝撃を与えたり、落としたり、またはキャリングケースに入れたプロジェクターの上にものを置かないでください。破損の原因になります。プロジェクターをキャリングケースで輸送しないでください。破損の原因となります。（プロジェクターを付属のキャリングケースへ入れるときは、レンズ部分が上にくるように入れてください。）

● 電波障害自主規制について ●
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

設置するときは次のことに注意してください

● 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
・観葉植物やペットを置かないでください。
・熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
・排気口付近には視聴席を設けないでください。

熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また動作中は、排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。

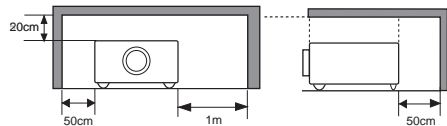
● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲	5℃～ 35℃	保管温度範囲	－ 10℃～ 60℃

● 壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください ●

吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。

（上方 20cm 以上、側面・後面 50cm 以上、排気口各 1m 以上）

● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

エアフィルターを定期的に掃除してください

吸気口のエアフィルターはプロジェクター内部の光学部品（レンズやミラー）をホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクターを冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。長期間プロジェクターの安全と性能を維持するためには、エアフィルターを定期的に掃除することが必要です。掃除の目安はプロジェクターをご使用になる環境によって異なります。通常の生活環境でプロジェクターをご使用になる場合は、約 200 時間のご使用のたびにエアフィルターの掃除をされることをおすすめします。ホコリや煙が多い場所でプロジェクターをご使用になる場合、その状況によってこまめに掃除を行なってください。エアフィルターの掃除の手順は 86 ページをご覧ください。

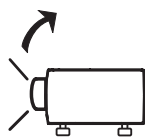
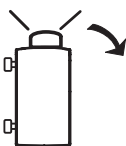
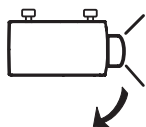
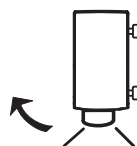
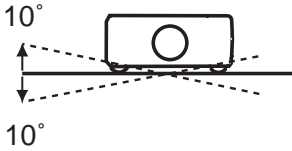
お掃除時期をお知らせする「フィルター警告」

本機にはフィルターの掃除時期をお知らせする「フィルター警告」機能があります。設定した時間を越えると、フィルターの掃除をお知らせする表示（右図）があらわれます。設定については 80 ページをご覧ください。

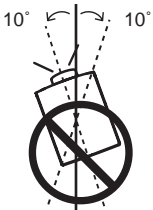
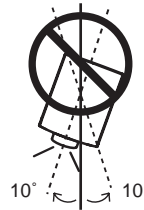
フィルター警告

正しい方向に設置してください

プロジェクターは、正しい方向に設置してください。誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となります。

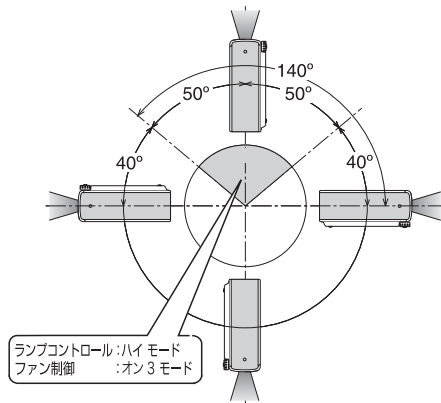
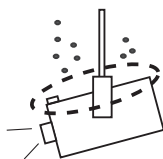
プロジェクターを安全にご使用頂くため、プロジェクターは必ず指定の方向でご使用ください。指定以外の方向でご使用になると、プロジェクターの寿命を縮めるのみならず、火災や事故の原因となります。
プロジェクターは上方向、下方向、斜めと、360 度の範囲で投映可能です。
下図及び指定の範囲内でご使用ください。

以下の方向では使用しないでください

左右への傾きは各 10 度以内としてください。

横置き禁止

横に立てて設置して投映しないでください。

プロジェクターの水平軸を10 度以上傾けて上方向に投映しないでください。

プロジェクターの水平軸を10 度以上傾けて下方向に投映しないでください。

上向き方向でのランプコントロールとファン制御の設定

海抜約 1600m までの場所で、下図のようにプロジェクターを水平面からの角度が 40 度から 140 度の範囲で上向きに設置するときは、ランプの保全のために設定メニューの「ランプコントロール」（☞ 74 ページ）を「高（ハイ）」モードに、「ファン制御」（☞ 79 ページ）を「オン 3」モードにしてください。

さらに高地で使用する場合は、設置角度にかかわらず、「ファン制御」を「オン 2」モードにして使用してください。

天井から吊り下げてご使用になるときに

天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルター周辺の掃除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取りのぞいてください。

⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きます。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（[LAMP REPLACE］インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠ ランプが破裂した場合

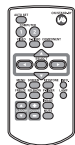
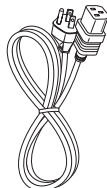
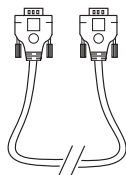
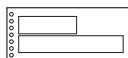
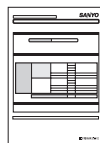
プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談センターへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

付属品を確認してください

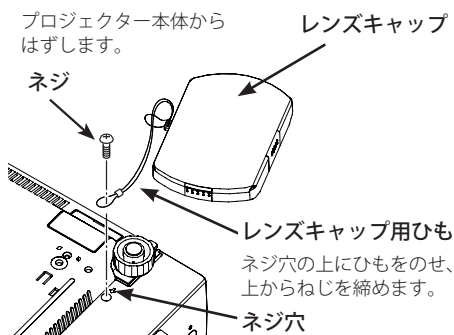
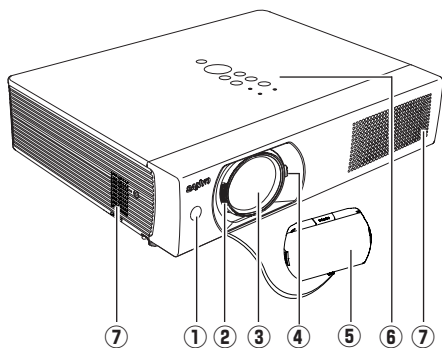
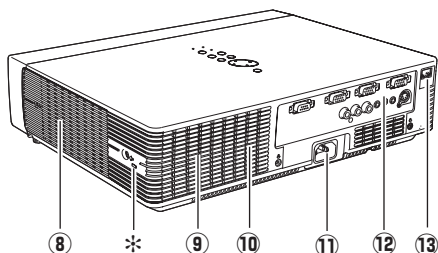
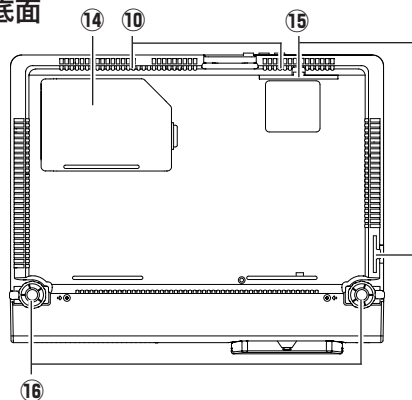
プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

1. リモコン(CXZR)
2. リモコン用アルカリ乾電池(単4形 2本)
3. 電源コード
4. 電源プラグアダプタ
5. コンピュータケーブル(D-sub 用)
6. 取扱説明書(本書+別冊2冊)
7. 保証書
8. お客さまご相談窓口一覧
9. レンズキャップ
10. レンズキャップ用ひも
11. ネットワークアプリケーションCD-ROM
12. PIN code lock シール ＊
13. キャリングケース

＊ 暗証番号を登録してプロジェクターをロックする場合に、プロジェクター本体の目立ちやすい箇所に貼り付け、プロジェクターがロックされていることを表示するのにご使用ください。☞ 105 ページ

<レンズキャップを取り付ける>

本機をお使いにならないときは、ホコリやキズからレンズを守るためレンズキャップを付けてください。

1 レンズキャップの穴にひもを通します。

2 本機の底面にある取付用ネジをはずします。

3 ネジ穴にひもをのせ、ひもの上から取り外したネジを締めて、本機に取り付けます。

本体各部の名称

前面

ご使用中、天面は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。

① リモコン受光部
② フォーカスレバー
③ 投映レンズ
④ ズームレバー
⑤ レンズキャップ ※1
⑥ 操作パネル・インジケータ
⑦ 吸気口※2
⑧ 排気口※3
⑨ スピーカ
⑩ 吸気口※2
⑪ 電源コード接続ソケット
⑫ 後面端子
⑬ LAN 接続端子
⑭ ランプカバー
⑮ エアフィルター
⑯ 調整脚 / 調整脚ロック

後面

⁎ 盗難防止用ロック穴
盗難防止用のチェーンなどを取り付けるときに使用します。

底面

※1

ランプ点灯中は、レンズキャップを必ずはずしてください。レンズキャップを付けたまま点灯すると、レンズキャップの変形および火災の原因となります。

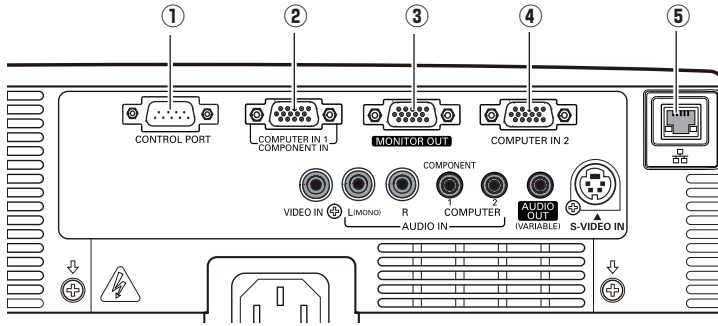
※2

内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

※3

スプレーなど、引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすいものを近くに置かないでください。火災の原因となります。

機器をつなぐ端子

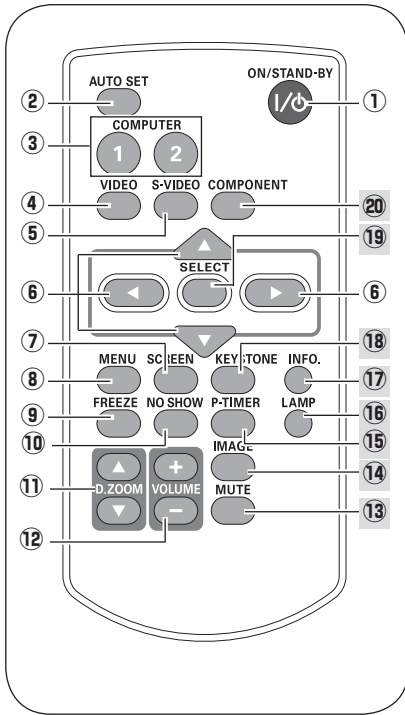
後面端子

①	**CONTROL PORT**（コントロール ポート） コンピュータからシリアルデータでプロジェクターを操作するときに使用します。
②	**COMPUTER IN 1/ COMPONENT IN（コンピュータ / コンポーネント入力端子）** ☞ 26、28 ページ コンピュータからの信号、ビデオ機器からのコンポーネント信号を入力します。 接続には付属または市販のコンピュータケーブル（D-sub 用）または別売の D-sub/ コンポーネントケーブル※を使用します。
③	**MONITOR OUT（モニター出力端子）** ☞ 26、28 ページ コンピュータのモニター出力として使用することができます。 接続には付属または市販のコンピュータケーブル（D-sub 用）を使用します。
④	**COMPUTER IN 2（コンピュータ入力）** ☞ 26、28 ページ コンピュータからのアナログ信号を入力します。
⑤	**LAN 接続端子** 有線 LAN ケーブルを接続します。 別冊の取扱説明書をご参照ください。

※ 別売の D-sub/ コンポーネントケーブルの 3 ピン部分は、メスになっています。ビデオ機器とつなぐときは市販のオスの形状のケーブルが必要になります。

⑥	**VIDEO IN（ビデオ入力端子）** ☞ 27 ページ ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。
⑦	**AUDIO IN（音声入力端子）** ☞ 27 ページ ⑩ に接続された S ビデオまたは ⑥ に接続されたビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。モノラルの音声は［L (MONO)］端子に接続してください。
⑧	**COMPUTER1/COMPUTER2 AUDIO IN（コンピュータ 1/ コンピュータ 2 音声入力端子）** ☞ 26、28 ページ ② または ④ に接続された、コンピュータまたはビデオ機器（コンポーネント）からの音声出力（ステレオ）をこの端子に接続します。
⑨	**AUDIO OUT（音声出力端子）（可変）** ☞ 26 ～ 28 ページ ⑦ または ⑧ に接続された投映中のコンピュータまたはビデオ機器からの音声を外部のオーディオ機器へ出力する端子です。
⑩	**S-VIDEO IN（S 映像入力端子）** ☞ 27 ページ ビデオ機器からの S 映像出力をこの端子に接続します。

操作パネルとインジケータ

①	**SELECT ボタン** ☞ 43、60 ページ ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードでは画像の拡大または縮小に使用します。
②	**ポイント /VOLUME ボタン** ☞ 42、43、59 ページ オンスクリーンメニューでのポインタの移動や各種メニューの調整、音量の調整に使用します。また、デジタルズームモードあるいはリアルモードで画像を上下左右に移動するのに使用します。
③	**MENU ボタン** ☞ 43 ～ 44 ページ オンスクリーンメニューを表示します。
④	**AUTO SETUP/CANCEL ボタン** ☞ 36 ページ 設定メニューの「オートセットアップ」で設定した「自動入力切換、自動 PC 調整（PC 入力時のみ）、オートキーストーン」の機能を実行します。
⑤	**POWER インジケータ** ☞ 87 ～ 88 ページ プロジェクターの状態を示します。 点灯（赤）：電源を入れる準備ができました。 点滅（赤）：ランプの冷却中です。 点灯（緑）：プロジェクターが動作しています。 点滅（緑）：パワーマネージメントモードが働いています。
⑥	**WARNING インジケータ** ☞ 87 ～ 88 ページ 赤く点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。また、プロジェクターの内部の異常を検知したとき赤く点灯します。
⑦	**KEYSTONE ボタン** ☞ 37 ～ 38 ページ 画面の台形ひずみ、または角ゆがみを補正します。
⑧	**INPUT ボタン** ☞ 35 ページ インプット（入力）を切り換えます。
⑨	**I/⏻ ON / STAND-BY ボタン** ☞ 30、33 ページ 電源を入・切します。
⑩	**LAMP REPLACE インジケータ** ☞ 83、88 ページ ランプの交換時期を知らせます。

リモコンのボタン

オン　スタンバイ
① **ON / STAND-BY ボタン**
☞ 30、33 ページ
電源を入・切します。

オート　セット
② **AUTO SET ボタン** ☞ 36 ページ
「設定」メニューの「オートセットアップ」で設定した「自動入力切換、自動 PC 調整（PC 入力時のみ）、オートキーストーン」機能を実行します。

コンピュータ
③ **COMPUTER 1/2 ボタン** ☞ 35 ページ
入力をコンピュータ 1（または 2）に切り換えます。

ビデオ
④ **VIDEO ボタン** ☞ 35 ページ
入力をビデオに切り換えます。

エスビデオ
⑤ **S-VIDEO ボタン** ☞ 35 ページ
入力を S ビデオに切り換えます。

ポイント
⑥ **POINT ボタン** ☞ 42、43、59 ページ
オンスクリーンメニューでのポインタの移動やメニューの調整に使用します。また、デジタルズームモードあるいはリアルモードで画像を上下左右に移動するのに使用します。

スクリーン
⑦ **SCREEN ボタン** ☞ 41、59 ページ
画面サイズを選択します。

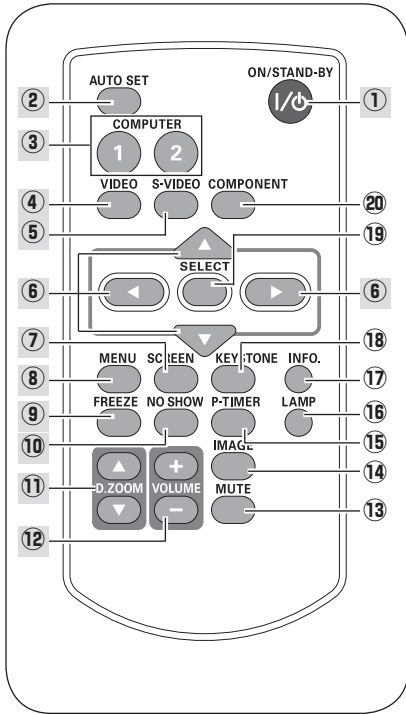
メニュー
⑧ **MENU ボタン** ☞ 43 ～ 44 ページ
オンスクリーンメニューを表示します。

フリーズ
⑨ **FREEZE ボタン** ☞ 39 ページ
画面を一時的に静止させます。

ノーショー
⑩ **NO SHOW ボタン** ☞ 40 ページ
画面を一時的に消します。

デジタルズーム
⑪ **D.ZOOM ▲ / ▼ ボタン** ☞ 41 ページ
デジタルズームの操作に使用します。

ボリューム
⑫ **VOLUME+/- ボタン** ☞ 42 ページ
音量の調整に使用します。

⑬ 以降は次ページへ

⑬ **MUTE ボタン** ☞ 42 ページ
音声を一時的に消します。

⑭ **IMAGE ボタン** ☞ 39 ページ
画質モードを選択します。

⑮ **P-TIMER ボタン** ☞ 40 ページ
このボタンを押してから経過した時間を表示させせます。

⑯ **LAMP ボタン** ☞ 39 ページ
ランプモードを選択します。

⑰ **INFO. ボタン** ☞ 46 ページ
投映中の信号状況や設定の状況を表示します。

⑱ **KYESTONE ボタン** ☞ 37 ～ 38 ページ
画面の台形ひずみ（あおり）を補正します。

⑲ **SELECT ボタン** ☞ 43、60 ページ
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

⑳ **COMPONENT ボタン** ☞ 35 ページ
入力をコンポーネントに切り換えます。

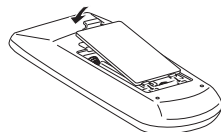
電池の入れかた

1 電池カバーを開けます。

ツメの部分を押して、引き上げます。

2 電池を入れます。

＋ (プラス) − (マイナス) に注意して付属の乾電池（単 4 形アルカリ乾電池 2 本）を入れます。

3 電池カバーを閉めます。

カチッと音がするまでしっかり閉じます。

電池を使用するときのご注意

注　意

禁　止

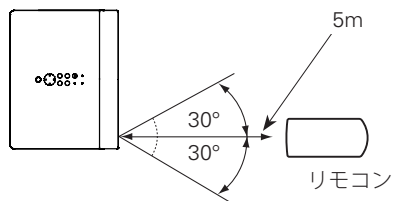
電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんご注意ください。

- 種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
- 乾電池は充電しない。分解しない。
- ＋極と−極の向きを正しく入れる。＋極と−極をショートさせない。
- 可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- 電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- 長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- 液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

リモコンで操作できる範囲

リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面のリモコン受信部から約 5m 以内、上下左右 30 度以内です。
※間に障害物があると操作の妨げになります。

リモコンを使用するときのご注意

- 本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当らないようにする。
- 液状のものをかけない。
- 落としたり衝撃を与えない。
- 熱や湿気をさける。

リモコンコードの設定

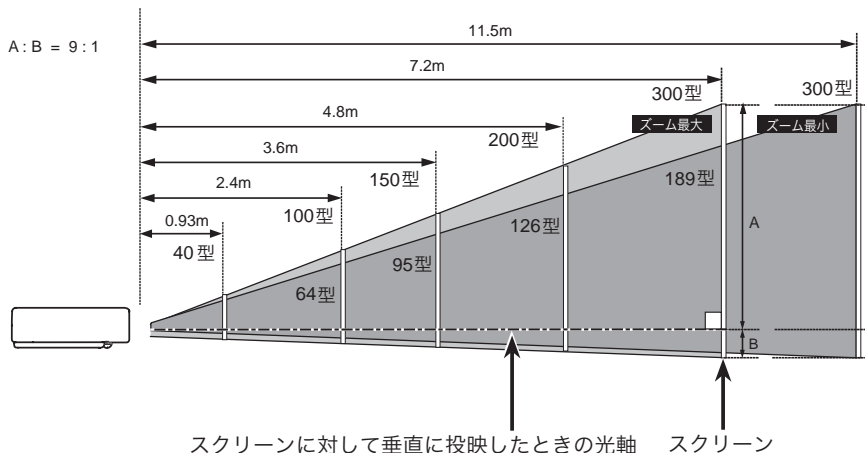
本機は 2 種類のリモコンコードの設定が可能です。2 台のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。リモコンコードを他のコードに変更する場合、プロジェクター本体とリモコン本体の両方をあわせて切り換える必要があります。
たとえば、本機 (プロジェクター) を「コード 2」に設定した場合、リモコン本体のコードも「コード 2」に切り換える必要があります。75 ページ

リモコンコードの切り換えかた

リモコンの［MENU］と［IMAGE］ボタンの両方を同時に 5 秒以上押すと、リモコン本体のコードが「コード 2」に切り換わります。リモコン本体のコードを切り換えた後は、リモコンが正しく動作するか確認してください。また、いったんリモコンから電池を抜くと、リモコン本体のコードが「コード 1」に戻ります。

設置のしかた

スクリーンからのおよその投映距離と画面サイズの関係

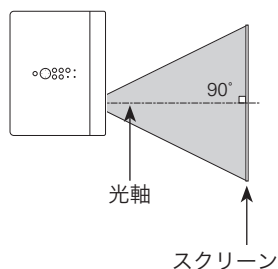
画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。本機のレンズの場合、スクリーンからレンズまでの距離が約 0.93m ～ 11.5m の範囲に設置してください。

画面サイズ（幅 x 高さ : mm）	40 型	100 型	150 型	200 型	300 型
	813 x 610	2032 x 1524	3048 x 2286	4064 x 3048	6096 x 4572
投映距離（ズーム最大）	0.93 m	2.4 m	3.6 m	4.8 m	7.2 m
投映距離（ズーム最小）	1.5 m	3.8 m	5.7 m	7.6 m	11.5 m

※ 上表はアスペクト比 4：3 の画面サイズです。投映画像の内容により画面サイズが異なる場合があります。☞ 59 ～ 62 ページ

スクリーンに対して直角に設置する

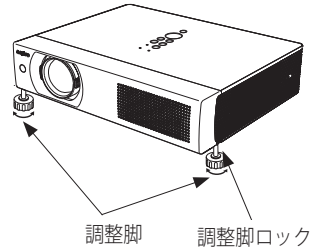
投映したとき、光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。

※ スクリーンに対して過度に斜めに投映すると、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。

上から見た図

投映画面の高さと傾きを調整する

1 本体前方を持ち上げてから、調整脚ロックを指で引き上げて調整脚を伸ばし、指を離して調整脚をロックします。

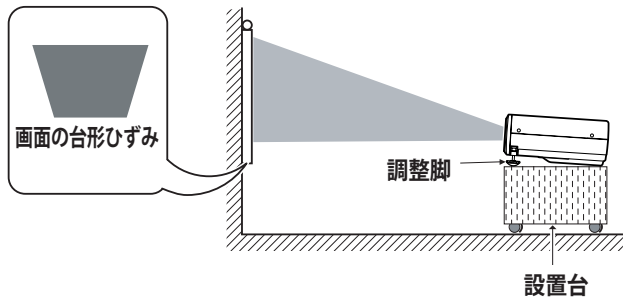
2 調整脚をまわして投映画面の高さと傾きを微調整します。最大約 8.9 度まで上がります。

※ 持ち運ぶときは必ず調整脚を収納してください。

左右方向の傾きは± 10 度以内に

左右の傾きが± 10 度以内になるように投映してください。
傾きが大きいと、ランプの故障の原因となります。

画面の台形ひずみ（あおり）

調整脚を上げすぎると、投映角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。
☞ 37 ～ 38、66 ページ

※画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。

お使いになる部屋の明るさについて

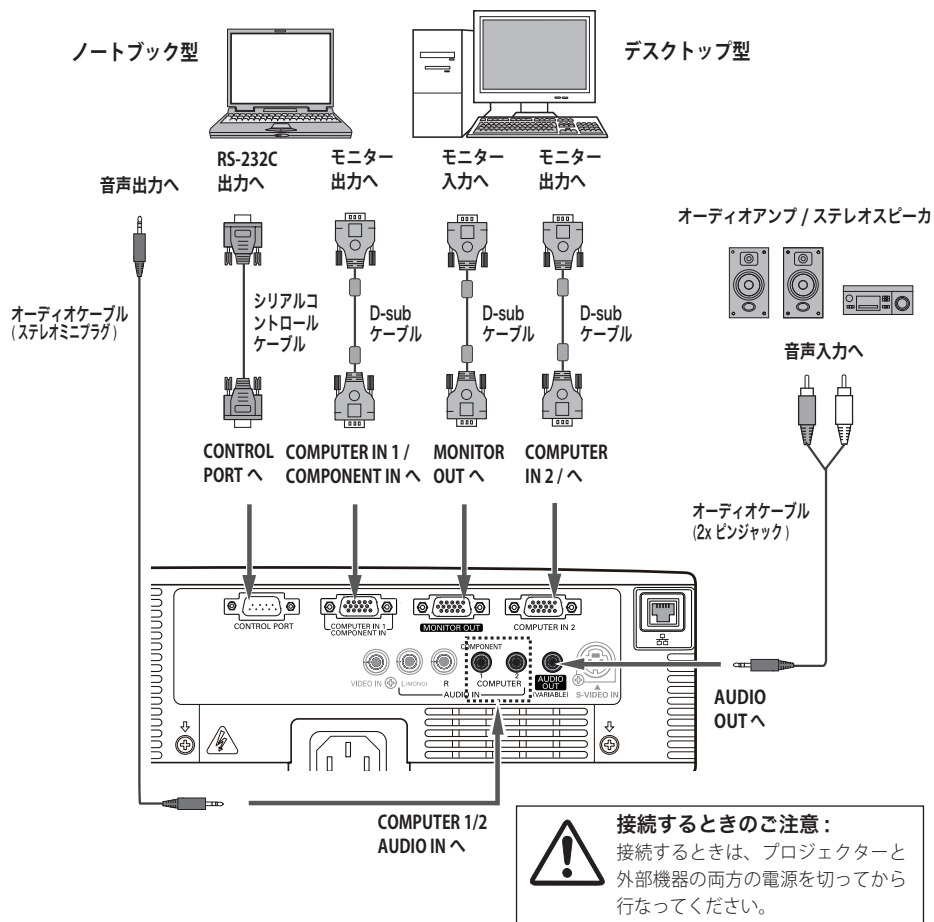
スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

接続の例 ～ コンピュータ

接続に使用するケーブル（* = 市販のケーブルをお使いください。）

- D-sub ケーブル
- オーディオ ケーブル（ステレオミニプラグ *、または 2x ピンジャック *）
- シリアルコントロールケーブル *

コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

※ ノートブック型は、キーボードの［Fn］キーを押しながらファンクションキーを押す、などの操作が必要な場合があります。

接続するときのご注意 :
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

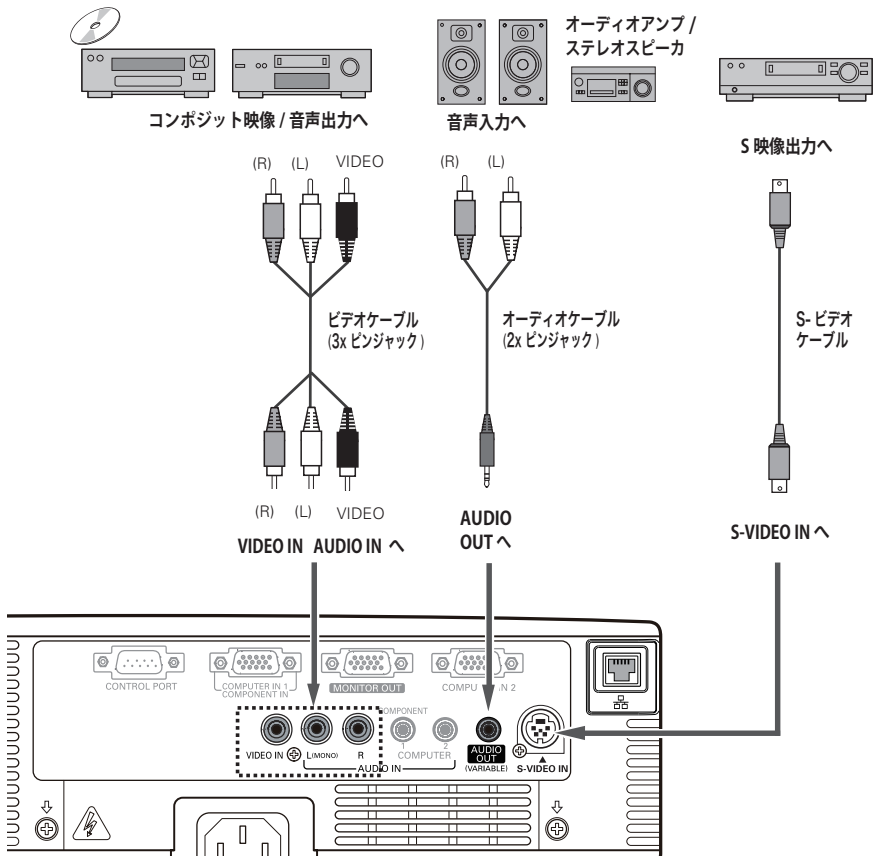
※ 内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、［AUDIO OUT］にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、［AUDIO OUT］にプラグがささっていないか確認してください。

接続の例 ～ ビデオ 1

接続に使用するケーブル

• ビデオ ケーブル（3x ピンジャック）
• S ビデオ ケーブル（ミニ DIN 4 ピン）
• オーディオ ケーブル（ステレオミニプラグ、または 2x ピンジャック）

※ 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。

ビデオ、S- ビデオ、DVD プレーヤ など

オーディオアンプ / ステレオスピーカ

コンポジット映像 / 音声出力へ

音声入力へ

S 映像出力へ

(R) (L) VIDEO

(R) (L)

ビデオケーブル（3x ピンジャック）

オーディオケーブル（2x ピンジャック）

S- ビデオケーブル

(R) (L) VIDEO

VIDEO IN AUDIO IN へ

AUDIO OUT へ

S-VIDEO IN へ

CONTROL PORT
COMPUTER IN 1 COMPONENT IN
MONITOR OUT
COMPUTER IN 2
COMPONENT
VIDEO IN
L(MONO)
R
AUDIO IN
COMPUTER
AUDIO OUT (VARIABLE)
S-VIDEO IN

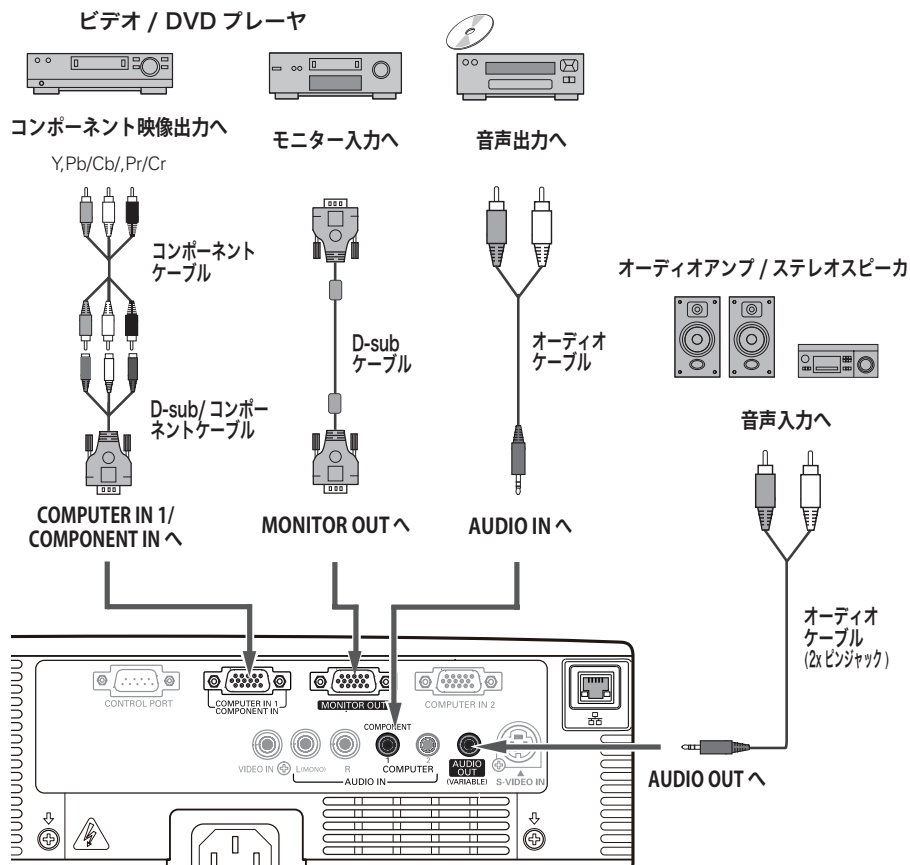
※ 内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、[AUDIO OUT] にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、[AUDIO OUT] にプラグがささっていないか確認してください。

接続するときのご注意 :
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

接続の例 ～ ビデオ 2

接続に使用するケーブル

• ビデオ ケーブル（コンポーネント、D-sub/ コンポーネント）
• オーディオ ケーブル　（ステレオミニプラグ、または 2x ピンジャック）
• D-sub ケーブル

※ 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。（D-sub/ コンポーネントケーブルは別売がありますが、3 ピン部分の形状はメスになっています。ビデオ機器とつなぐときは市販のオスの形状のケーブルが必要になります。102 ページ）

ビデオ / DVD プレーヤ

コンポーネント映像出力へ
Y,Pb/Cb/,Pr/Cr

モニター入力へ

音声出力へ

コンポーネント
ケーブル

D-sub/ コンポー
ネントケーブル

D-sub
ケーブル

オーディオ
ケーブル

オーディオアンプ / ステレオスピーカ

音声入力へ

オーディオ
ケーブル
(2x ピンジャック)

COMPUTER IN 1/
COMPONENT IN へ

MONITOR OUT へ

AUDIO IN へ

AUDIO OUT へ

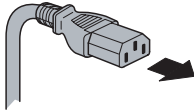
CONTROL PORT
COMPUTER IN 1
COMPONENT IN
MONITOR OUT
COMPUTER IN 2
COMPONENT
VIDEO IN
L(MONO)
R
1
2
COMPUTER
AUDIO IN
AUDIO OUT
(VARIABLE)
S-VIDEO IN

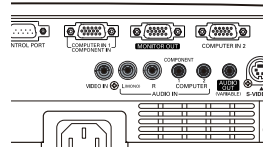
接続するときのご注意 :
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

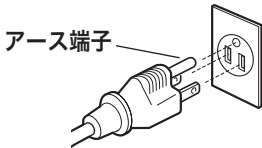
※ 内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、［AUDIO OUT］にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、［AUDIO OUT］にプラグがささっていないか確認してください。

電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、17 ～ 18、26 ～ 28 ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

1 本体付属の電源コードのソケット部分を、本体後面の電源コード接続ソケットに差し込みます。

ソケット部分

本体後面の電源コード接続ソケットに差し込む。

電源コード接続ソケット

2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3 ピンの AC コンセントに差し込みます。

プラグ部分

アース端子付き 3 ピンの AC コンセントへ差し込む。

電源コード取扱上の注意

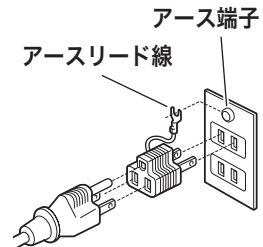
電源コードは必ず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものを絶対にご使用にならないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

本機は、リモコンや操作パネルの［ I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンで電源を切っても約 0.9W（エコモード時）の電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

安全のため電源プラグアダプタのアースリード線を接地してください

電源コードのプラグはアース端子付き 3 ピンプラグです。アースは確実に接地してご使用ください。コンセントが 2 ピン専用（アース端子がない）場合は、アース工事を行ない、付属の電源プラグアダプタを使用して接続してください。アースはコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないとテレビやラジオに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

- 感電の原因となりますので、アース工事は必ず専門業者に依頼してください。
- アースリード線をコンセントに差し込まないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグアダプタ使用の際は、安全のためコンセントに電源プラグアダプタを差し込む前にアースリード線をアースへ接地してください。はずすときは電源プラグアダプタをコンセントから抜いた後でアースリード線をはずしてください。

電源を入れる・切る

電源を入れる

電源を入れる前に、17 ～ 18、26 ～ 28 ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

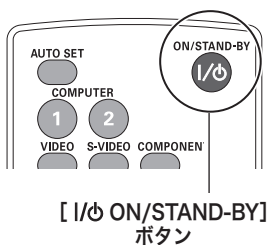
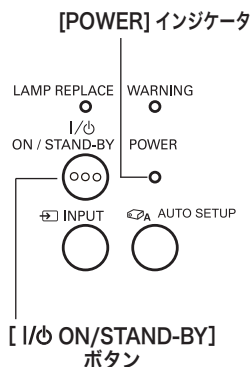
1 電源コードを AC コンセントに接続します。(29 ページ)［POWER］インジケータ (赤) が点灯します。

2 リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンを押して電源を入れます。*
［POWER］インジケータが赤から緑の点灯にかわります。
約 30 秒間のオープニング画面とそのカウントダウン ** が終わると画像が投映されます。
スタート時、画面左上に「インプットモード、ランプコントロール、自動入力切換」が約 4 秒間表示されます。

このとき、設定メニューの「セキュリティ」で、「暗証番号ロック」(76 ページ) を「オン」に設定している場合は、暗証番号を入力します。
※ 暗証番号の入力方法は 32 ページを参照してください。

また、入力信号が見つからないときは、次ページのガイダンスが表示されます。

* 1) 設定メニューの「オンスタート」を「オン」(73 ページ) に設定しているときは、電源コードを AC コンセントに接続するとプロジェクターの電源が入ります。
2) 設定メニューの「オートセットアップ」-「自動入力切換」を「オン 2」(64 ページ) に設定しているときは、電源が入ると同時に入力信号の検出を始めます。

** 設定メニューで、
- 「オンスクリーン表示」を「オン」(68 ページ)、「ロゴ」-「ロゴ選択」を「オフ」(68 ページ) に設定しているときは、カウントダウンは表示されますがオープニング画面は出ません。
- 「オンスクリーン表示」を「オフ」または「カウントダウンオフ」(68 ページ) に設定しているときは、「ロゴ」-「ロゴ選択」(68 ページ) の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投映されます。

インプットモード、ランプモード、自動入力切換の表示

エアフィルターおよびランプに関するお知らせ表示

電源を入れた後、プロジェクターの状態により「フィルター警告」および「ランプ交換」のお知らせ表示が出ることがあります。☞ 81、83 ページ

※ 約 4 秒間表示されます。

※「オンスクリーン表示」を「オフ」（☞ 68 ページ）に設定しているときは表示されません。

ランプ交換 フィルター警告

入力信号が見つからないとき

無信号時には以下のガイダンスが表示されます。ガイダンスに合わせて接続状況を確認することができます。

※「オンスクリーン表示」を「オフ」（☞ 68 ページ）に設定しているときや、メニューが表示されているときは、ガイダンスは表示されません。

1 入力信号が見つからないときに下図 1 が表示されます。[ポイント] ボタンの上下でビデオまたはコンピュータを選択します。

2 自動的に信号の有無を確認し、それでも入力信号が確認されないときは、下図 2 が表示されます。信号の種類やケーブルの接続状況、出力機器の状況を確認してください。

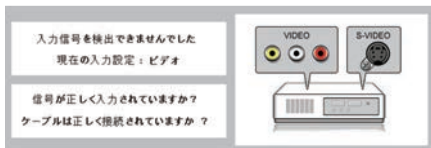
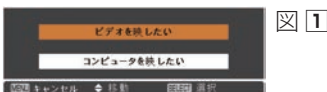
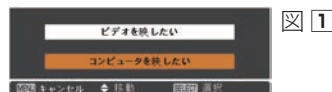
※ 約 30 秒表示され、その後下図 1 に戻ります。このとき「自動入力切換」が「オン 1」または「オン 2」の場合は、信号を検索してから下図 1 に戻ります。

ビデオを映したい

図 1

ビデオを映したい
コンピュータを映したい
MENU キャンセル ◆ 移動 SELECT 選択

図 2

入力信号を検出できませんでした
現在の入力設定：ビデオ
信号が正しく入力されていますか？
ケーブルは正しく接続されていますか ？
VIDEO
S-VIDEO

コンピュータを映したい

<コンピュータの信号が投映されない場合>
ケーブルが正しく接続されていても映らないときは、コンピュータの外部出力設定を取扱説明書などで確認してください。また、ノートブック型は、キーボードの［Fn］キーを押しながらファンクションキーを押す、といった操作が必要な場合があります。

暗証番号の入力

※ 30 ページの「電源を入れる」***1・2*** に続いて・・・

操作パネル

3 「暗証番号ロック」が「オン」のとき、30 ページの「手順 ***2***」でカウントダウンが終わったあと、暗証番号を入力する画面が現れます。

4 ［ポイント］ボタン上下で 0 ～ 9 の数字を選択し、［ポイント］ボタン右でポインタを 2 けた目に移動します。（1 けた目の表示が「＊」に変わります。）この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。

5 4 けた全ての数字を入力したらポインタを［ポイント］ボタン右で「セット」に移動します。

6 ［SELECT］ボタンを押して決定します。

※ 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、［ポイント］ボタン上下で数字を選び直します。
※ 4 けた全ての数字を消したいときは、「クリア」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。

7 正しく入力されていると、「OK」が画面に表示され、プロジェクターを操作できます。

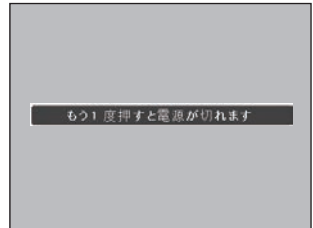
※ 暗証番号を入力して「OK」が画面に表示されない場合は、約 3 分後に電源が切れます。

「暗証番号ロック」とは？

管理者以外の暗証番号を知らない、第三者によるプロジェクターの操作を防止します。詳しくは 76 ページの設定メニュー「セキュリティ」-「暗証番号ロック」を参照してください。

電源を切る

1 リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンを押すと、画面に「もう 1 度押すと電源が切れます」が表示されます。

2 メッセージが表示されている間に再度ボタンを押すと画面と音が消え、電源が切れます。
電源が切れると［POWER］インジケータが赤の点滅に変わり、ランプの冷却を始めます。

※ 約 4 秒間表示されます。

電源を切った後、すぐには電源が入りません

電源を切った後、しばらくの間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は［ I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。［POWER］インジケータが赤く点灯すれば電源を入れることができます。

ランプを長持ちさせるために

ランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約 5 分以上点灯させてから電源を切ってください。電源を切るときは、［ I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンで操作してください。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

冷却ファンについて

投映している最中、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。また、電源を切った後のファンの回転速度は、設定メニューの「ファン」で調節することができます。☞ 78 ページ

電源を切った後、すぐに電源コードを抜ける「イージーオフ」機能

本機は［ I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンを押して電源を切ったら、冷却ファンの停止を待たずに、すぐに電源コードをプロジェクターから抜くことができる「イージーオフ」機能を搭載しています。電源を切った後、すぐに持ち運ぶことができます。

ケースなどにしまう前に

イージーオフ機能により、電源を切った後すぐに電源コードをプロジェクターから抜くことができますが、すぐにケースなどに収納すると本体がしばらく高温になり故障の原因となりますので、プロジェクターがじゅうぶんに冷えてからケースなどに入れるようにしてください。

パワーマネージメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネージメント機能が搭載されています。30 秒以上信号が入力されず、またプロジェクターが操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、またプロジェクターが操作されずにカウントダウンが完了すると、ランプが消灯して電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。

※ 工場出荷時は「待機・5 分」に設定されています。

☞ 72 ページ

ランプ消灯までの時間

入力信号なし
04 : 50

パワーマネージメントモードになると、[POWER] インジケータが緑の点滅を始めます。（設定が「待機」のとき）

パワーマネージメントの動作について

設定が「待機」の場合

（1）タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作にはいります。ランプ冷却中は［POWER］インジケータが赤く点滅し、プロジェクターを操作できません。

（2）ランプの冷却が完了すると［POWER］インジケータの点滅が緑に変わり、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。この状態のときに、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投映されます。

設定が「シャットダウン」の場合

（1）タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプの冷却が始まります。ランプ冷却中は［POWER］インジケータが赤く点滅し、プロジェクターを操作できません。

（2）ランプの冷却が完了すると 電源が切れます。

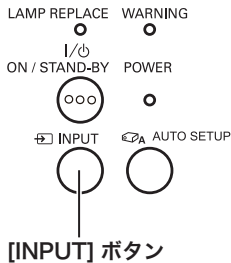
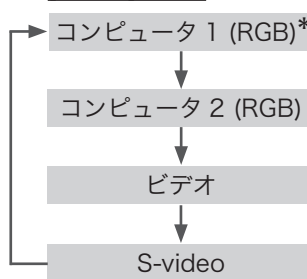
プロジェクターを 24 時間以上連続して使用する場合は、24 時間に一度電源を切って 1 時間休ませてください。
休ませることにより、ランプをより長くご使用いただけます。

入力信号を選択する

操作パネルの [INPUT] ボタン

操作パネルの [INPUT] ボタンで入力を選択することができます。

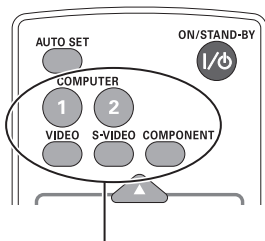
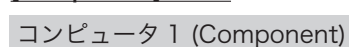
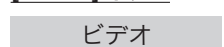
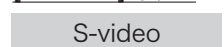
※ 正しい入力信号が選択されないときは、入力メニューで正しい入力信号を選んでください。
47 ～ 48 ページ

操作パネル

＊「コンピュータ 1」は、「RGB」「Component」「Scart」のうち「入力」メニューで設定した入力信号が選択されます。

リモコンの [COMPUTER1/2], [VIDEO], [S-VIDEO], [COMPONENT] ボタン

リモコンの [COMPUTER1/2、VIDEO、S-VIDEO、COMPONENT] ボタンで信号をダイレクトに選択することができます。

※ 正しい入力信号が選択されないときは、入力 メニューで正しい入力信号を選んでください。
47 ～ 48 ページ

リモコン

[COMPUTER 1] ボタン
[COMPUTER 2] ボタン
[VIDEO] ボタン
[S-VIDEO] ボタン
[COMPONENT] ボタン

※ 設定メニューの「オートセットアップ」-「自動入力切換」で「オン 1」または「オン 2」（ 64 ページ）を選択しているときは、自動的に入力が切り換わります。このとき変換ケーブルで接続している場合は、入力信号が正しく検出されないことがあります。

投映画面の調整やその他の操作

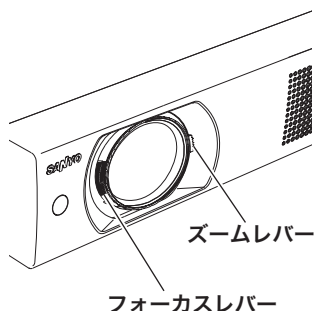
投映画面を調整する

画面の大きさを決める

ズーム

[ズームレバー] を動かして画面の大きさを調整します。

フォーカス

［フォーカスレバー］を動かして、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

オートセットアップ

[AUTO SET], [AUTO SETUP] ボタン

設定メニューの「オートセットアップ」の設定にしたがって投映画面を自動調整します。☞ 64 ～ 65 ページ

・自動入力切換
・自動 PC 調整（コンピュータ入力時のみ）
・オートキーストーン（上下）

リモコンの［AUTO SET］または操作パネルの［AUTO SETUP］ボタンを押します。

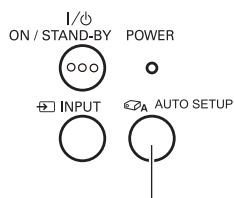
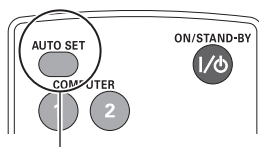
※ 調整が完了すると、調整された適切な画面で投映されます。

※「オートキーストーン（上下）」は、プロジェクターが設置されたときの傾斜を読みとり、台形ひずみを補正します。設置の状況によっては台形ひずみを完全に補正できないこともあります。そのようなときは、リモコンまたは操作パネルの［KEYSTONE］ボタン、または設定メニューの「キーストーン」から、手動で補正を行なってください。

※ 設定メニューの「天吊り」が「オン」のときは「オートキーストーン」は動作しません。☞ 71 ページ

※ RGB 入力は、セパレートシンクのみ「自動入力切換」に対応しています。

※ 自動 PC 調整は入力信号がコンピュータの時だけ働きます。「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」の 4 項目を自動調整します。

※ 自動 PC 調整で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合はマニュアルで調整して「カスタムモード」に登録してください。☞ 52 ～ 54 ページ

キーストーン調整（台形ひずみの補正、コーナー補正）

操作パネルおよびリモコンの［KEYSTONE］ボタンで、台形ひずみの補正またはコーナー補正を行なうことができます。［KEYSTONE］ボタンを押すごとに台形ひずみの補正機能とコーナー補正機能が切り換わります。

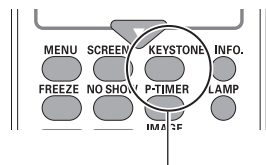
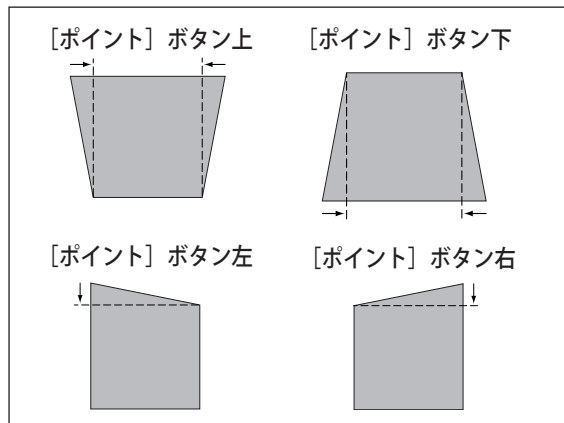
※ 台形ひずみの補正とコーナー補正は同時に保持できません。最後に行なった補正のみが有効になります。
※「天吊り」を「オン」に設定すると、台形ひずみの補正およびコーナー補正は解除されます。
※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。
※ 入力信号によっては補正量が変わることがあります。
※ キーストーンの設定値によっては、一瞬画像が乱れることがあります。

台形ひずみの補正

[KEYSTONE] ボタン

操作パネルまたはリモコンの［KEYSTONE］ボタンを押して※「キーストーン」を表示させます。表示が出ている間に［ポイント］ボタンで画面の台形ひずみを補正します。

［ポイント］ボタン 上・・・画面上部の幅が縮みます。
［ポイント］ボタン 下・・・画面下部の幅が縮みます。
［ポイント］ボタン 左・・・画面左部の高さが縮みます。
［ポイント］ボタン 右・・・画面右部の高さが縮みます。

※ 補正中に［KEYSTONE］ボタンを 3 秒間長押しすると、補正前の状態に戻ります。
※ 設定メニューの「キーストーン」からも補正できます。66 ページ
※ 上下の台形ひずみについては、設定メニューの「オートセットアップ」-「オートキーストーン」で自動的に補正できるよう設定できます。65 ページ

[KEYSTONE] ボタン

※［KEYSTONE］ボタンを押すごとに、台形ひずみの補正とコーナー補正の機能が切り換わります。

キーストーン表示

※ 約 10 秒間表示されます。
※「オンスクリーン表示」が「オフ」のときは表示されません。68 ページ

※ 補正された方向の矢印が赤く表示されます。
（無補正の場合は白色です）

※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

コーナー補正

[KEYSTONE] ボタン

操作パネルまたはリモコンの［KEYSTONE］ボタンを押して※ コーナー補正バーとコーナーパターンを表示させます。表示が出ている間に［ポイント］ボタン上下で水平線を上下に、［ポイント］ボタン左右で垂直線を左右に調整して、投映画面の角ゆがみを補正します。また、［SELECT］ボタンを押すと、補正対象の角が時計回りに切り換わります。

［ポイント］ボタン 上、下・・・水平線の上下調整
［ポイント］ボタン 左、右・・・垂直線の左右調整

［KEYSTONE］ボタン

※［KEYSTONE］ボタンを押すごとに、台形ひずみの補正とコーナー補正の機能が切り換わります。
※ コーナー補正を行なう前に、あらかじめ「オートセットアップ」-「オートキーストーン」（☞ 65 ページ）を「オフ」に設定しておいてください。「オートキーストーン」が働くと、コーナー補正が解除されて無効になります。
※ 表示は約 10 秒間出ます。
※「オンスクリーン表示」が「オフ」のときは表示されません。
※ 補正中に［KEYSTONE］ボタンを 3 秒間長押しすると、補正前の状態に戻ります。
※ 設定メニューの「キーストーン」からも補正できます。☞ 66 ページ

コーナー補正バーの矢印

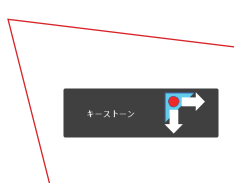
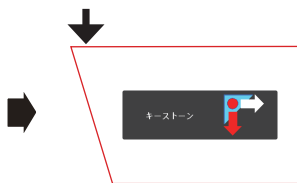
コーナー補正バーの矢印は、補正の向きと状態を表します。

無補正の状態
矢印が白色で表示されます。

垂直線を左右に補正している状態
補正すると矢印が赤色で表示されます。

垂直線を限界まで補正した状態
補正の限界点で矢印が消えます。

コーナー補正の作業イメージ

※ 簡略化のため、コーナーパターンは外枠のみを記載しています。

① 無補正の状態
② ［ポイント］ボタン下で上に伸びた水平線を補正
③ ［ポイント］ボタン右で左に伸びた垂直線を補正

補正する角の切り換え

［SELECT］ボタンを押すごとに、時計回りで補正対象の角が切り換わります。

画面を一時的に静止させる

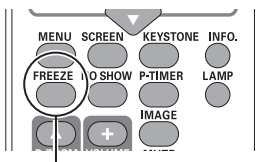
[FREEZE] ボタン

リモコンの［FREEZE］ボタンを押すと、再生機器に関係なく投映画面だけが静止します。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。

[FREEZE] ボタン

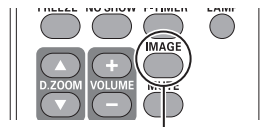
こんなときに便利です

プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には［FREEZE］ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。

イメージモードを選択する

[IMAGE] ボタン

［IMAGE］ボタンを押すごとに、イメージモードが「ダイナミック」「標準」「リアル / シネマ *」「黒（緑）板」「カラーボード **」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」に切り換わります。

*「リアル」はコンピュータ入力時に、「シネマ」はビデオ入力時にそれぞれ切り換えられます。

**「カラーボード」の色の設定は、画質モードメニューで行ないます。☞ 55 ページ

[IMAGE] ボタン

ランプの明るさを選択する

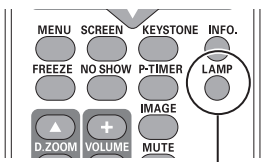
[LAMP] ボタン

ランプの明るさを「ハイモード」、「ノーマルモード」、「エコモード」から選択します。「エコモード」は、ランプの消費電力を抑えることができます。

[LAMP] ボタン

ハイモード・・・最も明るい設定です。

ノーマルモード・・・ハイモードとエコモードの中間の明るさです。

エコモード・・・明るさ（ランプの消費電力）を抑えます。

※ ボタンを押すごとに モードが切り換わります。

※ 設定メニューの「ランプコントロール」からも調整できます。☞ 74 ページ

画面を一時的に消す

[NO SHOW] ボタン

リモコンの［NO SHOW］ボタンを押すと、「ブランク」が表示され、再生機器に関係なく投映画面を一時的に消すことができます。再度［NO SHOW］ボタンを押すと解除されます。

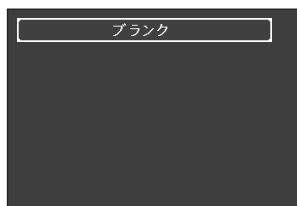
[NO SHOW] ボタン

※［NO SHOW］中に他のボタンを押すと［NO SHOW］は自動的に解除され、押したボタンの機能が働きます。

「ブランク」表示

※ 約 4 秒間表示されます。
※「オンスクリーン表示」が「オフ」のときは表示されません。
☞ 68 ページ

こんなときに便利です

プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。

プレゼン時に経過時間を表示する

[P-TIMER] ボタン

リモコンの［P-TIMER］ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。もう一度［P-TIMER］ボタンを押すと経過時間のカウントを止め、それまでの経過時間を画面に表示します。カウントが表示されているときに再度［P-TIMER］ボタンを押すと［P-TIMER］が解除されます。

※［P-TIMER］中に他のボタンを押すと、押したボタンの機能が働いてカウント表示が消えますが、［P-TIMER］機能は継続して働いています。カウント表示が消えているときに再度［P-TIMER］ボタンを押すとカウントが再表示されます。

[P-TIMER] ボタン

「P-TIMER」のカウント表示

※ 00 分 00 秒から最長 59 分 59 秒までの経過時間を画面表示できます。

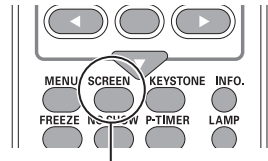
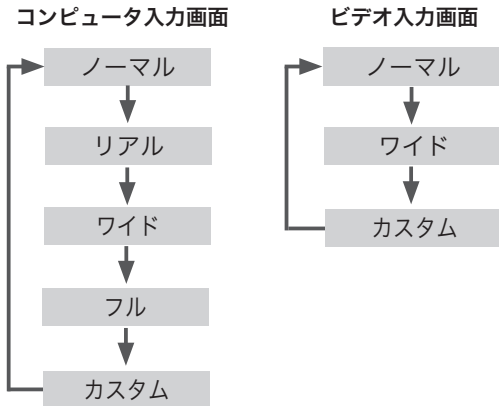
こんなときに便利です

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。

画面サイズの選択

[SCREEN] ボタン

リモコンの［SCREEN］ボタンで、入力信号に合わせて画面のサイズを切り換えます。☞ 59 ~ 62 ページ

ご注意：
※ 入力信号によっては切り換らないモードがあります。

[SCREEN] ボタン

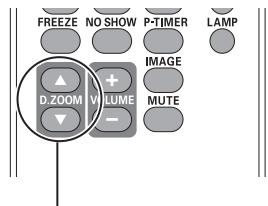
デジタルズーム

[D.ZOOM ▲ / ▼] ボタン

コンピュータ入力時に画面の拡大、縮小を行います。
☞ 60 ページ

デジタルズーム＋：
リモコンの [D.ZOOM ▲] ボタンを押すと「D.zoom ＋」が表示され、「デジタルズーム＋」モードに入ったことをお知らせします。[D.ZOOM ▲] ボタンまたは［SELECT］ボタンを押すごとに画面が拡大します。［ポイント］ボタンで画面のパンニング操作を行います。

デジタルズーム–：
リモコンの [D.ZOOM ▼] ボタンを押すと「D.zoom －」が表示され、「デジタルズーム－」モードに入ったことをお知らせします。[D.ZOOM ▼] ボタンまたは［SELECT］ボタンを押すごとに画面が縮小します。

※ デジタルズームモードを解除するときは、入力信号または画面サイズ（スクリーンモード）を切り換えます。

[D.ZOOM] ボタン

※ スクリーンモードが「リアル」または「フル」のときには、デジタルズーム機能は使用できません。

音量を調節する・一時的に消音する（MUTE）

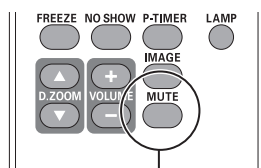
ダイレクトボタンで音を調節する

音量

リモコンまたは操作パネルの［VOLUME］ボタン（+/–）で音量を調節します。音量バーを目安にして調節してください。

消音

リモコンの［MUTE］ボタンを押すと消音が「オン」になり、一時的に音が消えます。もう一度［MUTE］ボタンまたは［VOLUME］ボタン（+/–）を押すと消音が解除され、表示が「オフ」になります。

※［MUTE］ボタンは操作パネルにはありません。

音量の目安になります。

［MUTE］ボタンを押すと「オン」「オフ」が切り換わります。

※ 約 4 秒間表示されます。
※「オンスクリーン表示」が「オフ」のときは表示されません。 68 ページ

サウンドメニューで音を調節する

1 リモコンまたはコントロールパネルの［MENU］ボタンでメニューバーを出し、［ポイント］ボタン上下で「サウンド」メニューに合わせます。

2 ［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右で、サブメニュー内に入り、［ポイント］ボタン上下で項目に合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。

サウンドメニュー

※［SELECT］ボタンまたは、［ポイント］ボタン左でサブメニューに戻ります。

音量

［ポイント］ボタン上で音量が大きくなり、［ポイント］ボタン下で音量が小さくなります。音量のバーを目安に調節してください。

消音

［SELECT］ボタンで「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

※「オン」を選択していても、「音量」の数値を変更すると、自動的に「オフ」になり、音が出ます。

オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー (画面上のメニュー) の操作は、①ポインタを動かして　②ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

オンスクリーンメニューの例

① ポインタの動かしかた

ポインタは、［ポイント］ボタンで上下左右に動かします。［ポイント］ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

② 項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコン（操作をイメージした図）を選択するには、［SELECT］ボタンを押します。［SELECT］ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

操作パネル　　**リモコン**

KEYSTONE　MENU

［MENU］ボタン

［ポイント］ボタン

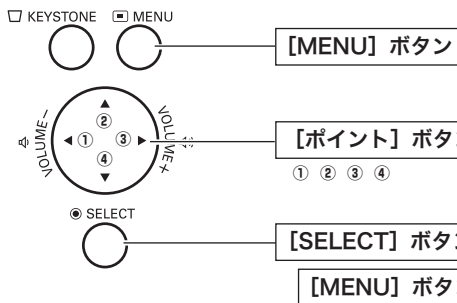
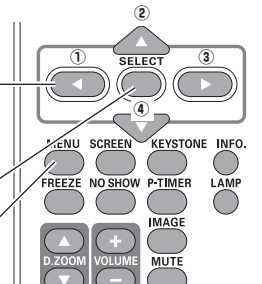
① ② ③ ④

SELECT

［SELECT］ボタン

［MENU］ボタン

VOLUME–　VOLUME+

SELECT　MENU　SCREEN　KEYSTONE　INFO.　FREEZE　NO SHOW　P-TIMER　LAMP　IMAGE　D.ZOOM　VOLUME　MUTE

［ポイント］ボタン	ポインタを上下左右に動かします。
［SELECT］ボタン	ポインタの指す項目を選択します。
［MENU］ボタン	オンスクリーンメニューを表示させます。

操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

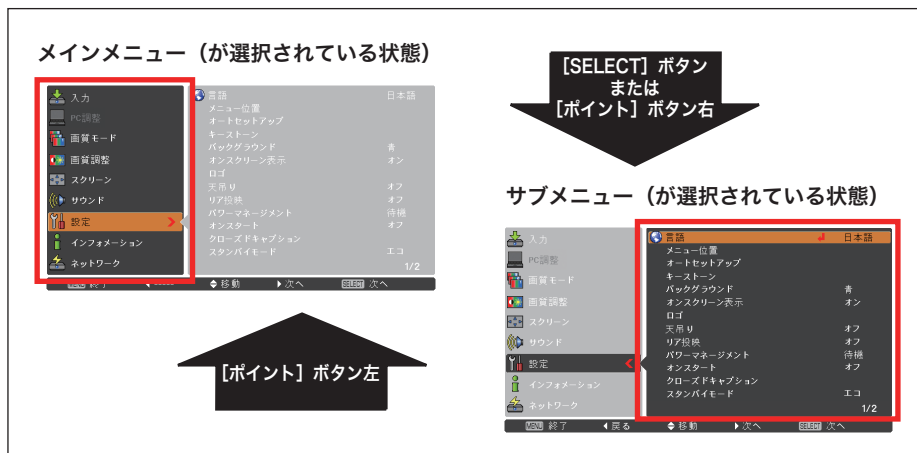
1 リモコンまたは操作パネルの［MENU］ボタンを押すとメニューが表示されます。選択できない項目の文字色は灰色で表示されます。

メニューを選択する

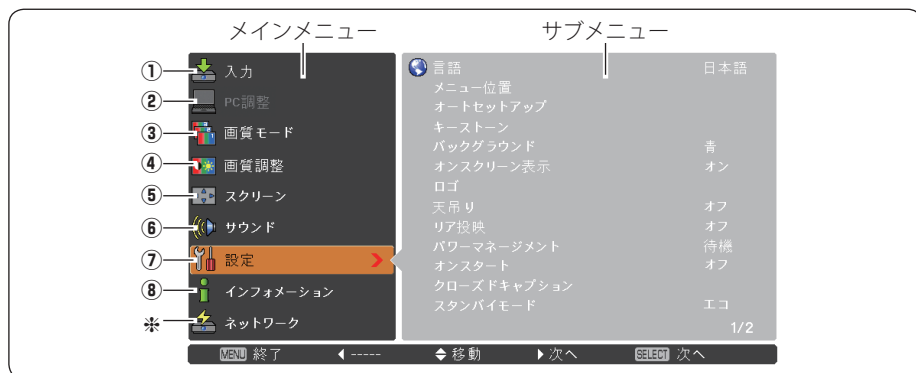
2 ［ポイント］ボタンの上下で、オレンジ色のポインタを選択したい項目に移動させます。表示されているメニューの右側に、選択した項目の詳細なメニュー（サブメニュー）が表示されます。

メニュー画面で調整や切り換えを行なう

3 ［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右でサブメニューに入り、調整する項目を［ポイント］ボタン上下で選択します。

4 ［ポイント］ボタンの上下左右や［SELECT］ボタンで、調整や切り換えを行ないます。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明の項目を参照してください。またサブメニューの次に、さらに詳細な設定をするメニューが表示される項目もあります。（この説明書では、サブメニューの次のメニューをサブメニュー2と表現します。）

ガイドについて

メニュー下に表示されるガイドには、選択・実行するボタンが表示されます。
右図はサブメニューのガイドです。

メニューバー

①	**入力** 47～50ページ 入力信号を選択します。	コンピュータ1、コンピュータ2、ビデオ、S-video
②	**PC調整＊** 51～54ページ お使いのコンピュータに合わせてシステムを調整し、カスタムモードに登録します。	自動PC調整、トラッキング、総ドット数、水平位置、垂直位置、クランプ、画面領域H、画面領域V、リセット、データ消去、メモリー
③	**画質モード** 55ページ 画質モードを選択します。	ダイナミック、標準、リアル＊、シネマ＊＊、黒（緑）板、カラーボード、イメージ1～4
④	**画質調整** 56～58ページ 画面のイメージをマニュアルで調整します。	コントラスト、明るさ、色の濃さ＊＊、色合い＊＊、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青）、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション＊＊、プログレッシブ＊＊、リセット、メモリー
⑤	**スクリーン** 59～62ページ 画面の大きさのモード設定をします。	コンピュータ入力のスクリーン設定：ノーマル、リアル、ワイド、フル、カスタム、デジタルズーム＋/－ ビデオ入力のスクリーン設定：ノーマル、ワイド、カスタム
⑥	**サウンド** 42ページ 音量の調節や消音の切り換えをします。	音量、消音
⑦	**設定** 63～82ページ プロジェクターの各種設定を行ないます。	言語、メニュー位置、オートセットアップ、キーストーン、バックグラウンド、オンスクリーン表示、ロゴ、天吊り、リア投映、パワーマネージメント、オンスタート、クローズドキャプション、スタンバイモード、ランプコントロール、リモコンコード、セキュリティ、ファン、ファン制御、ランプカウンター、フィルターカウンター、警告履歴、初期設定
⑧	**インフォメーション** 46ページ 投映中の信号状況と設定の状況を表示します。	入力、水平周波数、垂直周波数、スクリーン、言語、ランプ状態、ランプカウンター、パワーマネージメント、キーロック、暗証番号ロック、リモコンコード

✻　取扱説明書の『別冊』をご覧ください。
＊　コンピュータ入力のときのみ表示、または選択可
＊＊　ビデオ入力のときのみ表示、または選択可

投映中の入力信号の状況やランプの状態を確認する

「インフォメーション」で、投映中の入力信号の状況とランプの状態を画面上で確認することができます。

1 リモコンまたは操作パネルの［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［ポイント］ボタンの上下で［インフォメーション］を選択します。

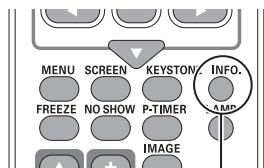
2 サブメニューに、以下の内容が表示されます。

※ ランプの交換推奨時間に達すると、ランプカウンターの時間が赤色で表示されます。

インフォメーションの項目

項目	内容
入力	投映中の入力と信号の種類
水平周波数	（およその目安の数値です）
垂直周波数	（およその目安の数値です）
スクリーン	選択中の画面サイズ
言語	選択中の言語
ランプ状態	選択中のランプモードをアイコンで表示
ランプカウンター	実使用時間 （交換推奨時間に達すると赤色で表示）
パワーマネージメント	設定内容と機能が働くまでの時間
キーロック	設定内容
暗証番号ロック	暗証番号ロックの設定状況
リモコンコード	設定されているリモコンコード

※「インフォメーション」を閉じたいときは、［ポイント］ボタンの上下を押すとインフォメーションから他の項目に移ります。また、リモコンの［INFO.］ボタンを押すとメニュー画面ごと消えます。

リモコン

[INFO.] ボタン

リモコンの［INFO.］ボタンで直接選択、表示させることができます。
※［INFO.］ボタンは操作パネルにはありません。

こんなときに便利です

プロジェクターの準備・設置などでうまく投映できないとき、問題解決の手助けになります。

入力の選択・設定・調整

入力を切り換える

「入力」メニューで入力を切り換える

1 ［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［ポイント］ボタンの上下で「入力」メニューを選択します。

2 ［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右でサブメニューに入り、映したい入力にポインタを合わせて［SELECT］ボタンを押します。
※「コンピュータ 1」は［ポイント］ボタン右を押すと、信号選択メニュー（サブメニュー 2）が表示されます。

3 信号選択メニューが表示されたら、［ポイント］ボタンの上下で信号を選択し、［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右を押します。

入力メニュー

［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右

信号選択メニュー

コンピュータ 1

RGB ［COMPUTER IN 1/COMPONENT IN］端子にコンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。

Component ［COMPUTER IN 1/COMPONENT IN］端子にコンポーネントビデオ信号が接続されているときに選択します。

RGB（Scart） ［COMPUTER IN 1/COMPONENT IN］端子に映像機器の SCART 映像出力＊が SCART-VGA ケーブルで接続されているときに選択します。

※［COMPUTER IN 1/COMPONENT IN］にビデオ機器からのコンポーネント信号を接続しているときは、入力に「コンピュータ 1」を選択して「コンピュータ 1」を「Component」に設定します。

＊ SCART 21 ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子の RGB 出力をプロジェクターで見るには、ビデオ機器の SCART 21 ピン端子とプロジェクターの［COMPUTER IN 1/COMPONENT IN］を専用のケーブルで接続します。［COMPUTER IN 1/COMPONENT IN］で再生される RGB SCART 信号は 480i、575i の RGB 信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

コンピュータ 2

［COMPUTER IN 2］端子に、コンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。（信号選択メニューは表示されません）

ビデオ

［VIDEO IN］端子に、ビデオ入力信号が接続されているときに選択します。（信号選択メニューは表示されません）

※ビデオ機器からのコンポーネント信号を投映する場合は、［COMPUTER IN 1/COMPONENT IN］に接続し、「コンピュータ 1」で「Component」を選択します。☞ 前ページ

S-video

［S-VIDEO IN］端子に S 映像信号が接続されているときに選択します。（信号選択メニューは表示されません）

コンピュータシステムの選択

システムモードが自動選択されます

（マルチ スキャン システム）

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステム モード (VGA、SVGA、XGA、SXGA・・・) を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投映することができます。93 ～ 95 ページ
選択されたシステムモードは、サブメニュー下の「システム」に表示されます。

※ システムには、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムに表示されるメッセージ

Auto ・・・ 接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動 PC 調整機能が働き、システムに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投映されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、「カスタムモード※」に登録してください。52 ～ 54 ページ

---- ・・・ コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。26 ページ

モード 1 ・・・ マニュアルで登録された「カスタムモード」が選択されたとき表示されます。

システムモードをマニュアルで選択するとき

「カスタムモード※」を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

1. ［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［ポイント］ボタンの上下で「入力」メニューを選択します。
2. ［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを映したい入力に合わせて［SELECT］ボタンを押して選択します。
3. ［ポイント］ボタンの上下でポインタをサブメニューの下方にある「システム」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。システムモードを選択するサブメニュー 2 が表示されます。
4. ［ポイント］ボタンの上下でポインタをいずれかのモードに合わせて［SELECT］ボタンで選択します。

※ カスタムモード
お使いのコンピュータに合わせて、お客さまが手動で登録したシステムモードです。52 ～ 54 ページ

システムモードの選択

設入
定力
・の
調選
整択
・

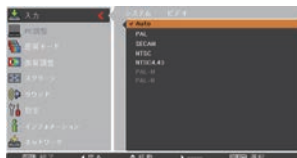
ビデオシステムの選択

1 ［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［ポイント］ボタンの上下で「入力」メニューを選択します。

2 ［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを「ビデオ」または「S ビデオ」に合わせます。

3 ［ポイント］ボタンの上下でポインタをサブメニューの下方にある「システム」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。システムモードを選択するサブメニュー 2 が表示されます。

4 ［ポイント］ボタンの上下でポインタをいずれかのモードに合わせて［SELECT］ボタンで選択します。

システムモードの選択

VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

Auto（自動）

入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。

※「PAL-M」「PAL-N」は自動選択されません。上記の手順で選択してください。

PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムは NTSC です。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

コンポーネント入力選択時

Auto（自動）

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

コンポーネント映像の走査方式

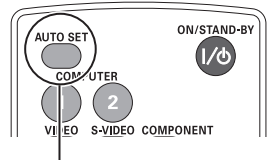
正しい映像が再生されないときは、メニュー の中から正しい走査方式を選んでください。

コンピュータシステムの調整

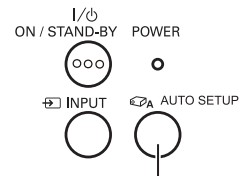
自動 PC 調整

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」の 4 項目を自動調整することができます。

「自動 PC 調整」機能で自動調整する

設定メニューの「オートセットアップ」で自動 PC 調整をオンに設定しているときのみ動作します。

[AUTO SET] ボタン

① ダイレクトボタンで調整する

リモコンの［AUTO SET］ボタン、または操作パネルの［AUTO SETUP］ボタンを押します。

[AUTO SETUP] ボタン

② メニューから調整する

1 ［MENU］ボタンを押してメニューを出し、メインメニューから［ポイント］ボタンの上下で「PC 調整」メニューを選択します。

2 ［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右でサブメニューに入り、「自動 PC 調整」を選択して［SELECT］ボタンを押すと自動調整を実行します。

PC 調整メニュー

※ 自動 PC 調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。
☞ 52 ～ 54 ページ

※ 自動調整した内容を一度登録しておくと、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては 53 ページをご覧ください。

※ システムメニューで、480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i が選択されているときは、自動 PC 調整機能は働きません。

※ ご使用のコンピュータまたは信号の種類によっては、正しく映らないときがあります。

マニュアル PC 調整（「カスタムモード」を登録する）

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものがあります。サブメニュー下の「システム」に「Auto」と表示され、画像が正しく投映されないときは、PC 調整メニューでマニュアル調整し、「カスタムモード」に登録してください。登録した「カスタムモード」は、システムメニューで選択できます。「カスタムモード」は 5 個まで登録することができます。

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［ポイント］ボタンの上下で「PC 調整」メニューを選択します。

2 ［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右でサブメニューに入り、ポインタを調整したい項目に合わせて［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右を押すと、調整したい項目の詳細メニュー（✱）が現れます。調整は画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で行ないます。

※ 詳細メニューで［ポイント］ボタンの上下を押すと、項目を順送りすることができます。

コンピュータ入力で「システム」に「Auto」と表示される

PC 調整メニュー

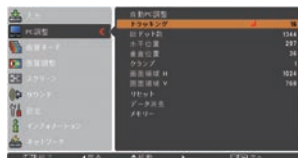
［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右

✱ 詳細メニュー

3 -1 リセット

① ポインタを「リセット」に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、「はい、いいえ」の確認メニューが表示されます。

② 「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、調整した内容をリセット（キャンセル）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択して［SELECT］ボタンを押すと、リセット（キャンセル）を中止することができます。

※ 自動的にサブメニューにもどります。

3-2 データ消去

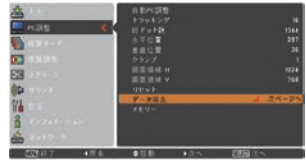
① ポインタを「データ消去」に合わせて［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右を押すと、サブメニュー2に各モードの登録内容が表示されます。

② ［ポイント］ボタンの上下で消去したいモードを選択し、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の確認メニューが表示されます。

［SELECT］ボタンまたは
［ポイント］ボタン右

③「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すと登録が解除され、サブメニュー2に戻ります。

※ モードを選び直すときは、「いいえ」を選択して［SELECT］ボタンを押し、サブメニュー2に戻って消去したいモードを選び直してください。

④ ［ポイント］ボタン左を押すと、サブメニュー2からサブメニューに戻ります。

3-3 メモリー

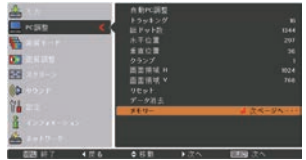
※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右を押すと、サブメニュー2に各モードの登録内容が表示されます。

② ［ポイント］ボタンの上下で登録したいモードを選択し、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の確認メニューが表示されます。

［SELECT］ボタンまたは
［ポイント］ボタン右

③「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すと登録され、サブメニュー2に戻ります。

※ モードを選び直すときは、「いいえ」を選択して［SELECT］ボタンを押し、サブメニュー2に戻って登録したいモードを選び直してください。

④ ［ポイント］ボタン左を押すとサブメニューに戻ります。

※ 既にデータが登録されているモードを選択すると、「データあり」と表示されます。そのまま登録するとデータが上書きされます。

操作手順

① ポインタを項目に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、詳細メニュー＊が表示されます。
② ［ポイント］ボタンの左右で調整します。
③ ［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン左を押すとサブメニューに戻ります。
※ 詳細メニューで［ポイント］ボタンの上下を押すと、項目が順送りで表示されます。

項　目

トラッキング

トラッキング (同期) がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。 (0 から 31 まで)
※ コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右

＊ 詳細メニュー

総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。

垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。

クランプ

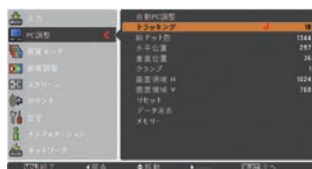
クランプ位置を調整します。
投映している映像に暗い線が出ているときに使います。

画面領域 H

水平解像度を調整します。
［ポイント］ボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

画面領域 V

垂直解像度を調整します。
［ポイント］ボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

※ システムメニューで 480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i のシステムモードが選択されているときは、「画面領域 H」および「画面領域 V」の調整はできません。

イメージの調整

画質モードメニューでイメージモードを選択する

1 ［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［ポイント］ボタンの上下で「画質モード」メニューを選択します。

2 ［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右でサブメニューに入り、お好みのモードに合わせて［SELECT］ボタンを押します。

［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右

ダイナミック

「標準」よりもメリハリの効いた画質を再現することができます。

標準

コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）、画質、ガンマ補正が、工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

自然な諧調で再現します。
※ コンピュータ入力時のみ選択できます。

シネマ

映画を見るのに適した、階調表現を重視した画質です。
※ ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ選択できます。

黒（緑）板

教室などの緑色をした黒板に投映するとき、白いスクリーンに投映したときに近い色合いを再現します。

カラーボード

色のついた壁などに投映する場合に、白いスクリーンに投映したときに近い色合いを再現します。

操作手順

① ［ポイント］ボタン右を押すと色選択メニューが表示されます。
② ［ポイント］ボタンの上下で投映面の色に近い項目を選択し、［SELECT］ボタンを押します。

イメージ 1 ～ 4

※ コンピュータ入力、ビデオ入力それぞれ別々に登録できます。

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。

画質調整メニューでイメージ調整を行なう

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［ポイント］ボタンの上下で「画質調整」メニューを選択します。

2 ［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右でサブメニューに入り、ポインタを調整したい項目に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、項目の詳細メニュー ＊ が表示されます。画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で項目の値を調整します。

※ 詳細メニューで［ポイント］ボタンの上下を押すと、項目を順送りすることができます。

［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右

［SELECT］ボタン

＊ 詳細メニュー

3 -1 リセット

① ポインタを「リセット」に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、「はい、いいえ」の確認メニューが表示されます。

② 「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すと調整した内容をリセット（キャンセル）し、調整前の値に戻ります。「いいえ」を選択して［SELECT］ボタンを押すとリセット（キャンセル）を中止します。

※ 自動的にサブメニューにもどります。

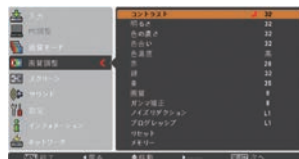
3 -2 メモリー

※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右を押すと、サブメニュー2に「イメージ1～4」の登録内容が表示されます。

② ［ポイント］ボタンの上下で登録したいモードを選択し、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の確認メニューが表示されます。

③ 「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すと登録され、サブメニュー2に戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択して［SELECT］ボタンを押します。イメージ調整を登録する画面に戻りますので、登録するモードを選びなおしてください。

※ 登録されるとイメージ番号の後ろに「データあり」と表示されます。

※ コンピュータ入力、ビデオ入力それぞれ別々に登録されます。

操作手順

① ポインタを項目に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、詳細メニュー＊が表示されます。
② ［ポイント］ボタンの左右で調整します。
③ ［SELECT］ボタンを押すとサブメニューに戻ります。
※ 詳細メニューで［ポイント］ボタンの上下を押すと、項目を順送りすることができます。

項　目

［SELECT］ボタン

＊ 詳細メニュー

コントラスト

◀ うすくなる　▶ こくなる（0 ～ 63）

明るさ

◀ 暗くなる　▶ 明るくなる（0 ～ 63）

色の濃さ

◀ うすくなる　▶ こくなる（0 ～ 63）
※ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。

色合い

◀ 紫がかる　▶ 緑がかる（0 ～ 63）
※ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。
※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。

色温度

◀ 超低へ　▶ 高へ（超低ー低ー中ー高）
※ 超低（赤みがかる）～高（青みがかる）
※ この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。
※「ホワイトバランス」（赤 / 緑 / 青のどれか 1 つでも）の調整をすると「ユーザー」と表示されます。

ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）

◀ うすくなる　▶ こくなる（各色 0 ～ 63）

画質

◀ やわらかい　▶ くっきり（0 ～ 15）

ガンマ補正

［ポイント］ボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。
（0 ～ 15）

ノイズリダクション

古いビデオやノイズの多い映像を見るとき、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

オフ ･･･ ノイズのない映像を投映するときは「オフ」に設定してください。

L1 ･･･ ノイズリダクション：弱

L2 ･･･ ノイズリダクション：強

※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p の信号を選択しているとき、またはコンピュータ信号入力時は「ノイズリダクション」は選択できません。

ノイズリダクションの使い分け

ノイズリダクションを使用すると、動きの速い映像に残像が発生することがあります。
- 動きの速い映像（アクション映画など）のときは「L1」（弱）に設定する。
- 動きの遅い映像のときは「L2」（強）に設定する。

プログレッシブ

オフ ･･･ 動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは「オフ」に設定してください。

L1 ･･･ プログレッシブスキャンを「ON」にします。（動画のとき）

L2 ･･･ プログレッシブ スキャンを「ON」にします。（静止画のとき）

フィルム

･･･「3-2 プルダウン / 2-2 プルダウン」された映画を投映するときに、映画の質感を損なわずに再生できます。

※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p の信号を選択しているとき、またはコンピュータ信号入力時は「プログレッシブ」は選択できません。

画像サイズの調整

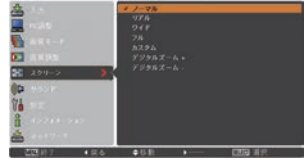
お好みにより、画像サイズを変えることができます。

1 ［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［ポイント］ボタンの上下で「スクリーン」メニューを選択します。

2 ［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右でサブメニュー内に入り、スクリーンモードを選択し、［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右を押します。

［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右

※ 入力信号により選択可能なスクリーンモードが異なります。選択できないときはグレーで表示されます。☞ 41 ページ

※ リモコンの［SCREEN］ボタンでも選択できます。☞ 41 ページ

画像サイズの選択（コンピュータ入力時）

ノーマル

入力信号のアスペクト比を保ったまま、表示できる最大の大きさで投映します。

ノーマル

※ 表示は約 4 秒間出ます。

リアル

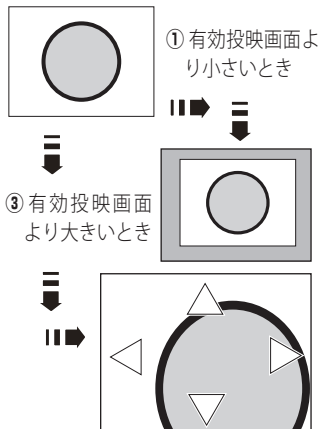
画像をオリジナルサイズで投映します。

① 画像サイズが有効投映画面（注）よりも小さいときは、画面の中央に投映し、画面左上に「リアル」の表示が現れます。

② 画像サイズが有効投映画面（注）と同じときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れますが、その後「ノーマル」で投映されます。

③ 画像サイズが有効投映画面（注）よりも大きいときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れ、画面の上下左右に△が表示されます。［ポイント］ボタンの上下左右で画像を移動させます。

※「リアル」を選択しているときには、「デジタルズーム＋/－」は選択できません。

リアル

※ 移動させた方向の△は赤色で表示されます。

※ 限界まで移動させると△の表示が消えます。

ワイド

アスペクト比 4：3 の入力信号を、アスペクト比 16：9 のワイド画面で投映します。

フル

フルスクリーンサイズで投映します。

※「フル」を選択しているとき、「デジタルズーム＋ / −」はグレーで表示され、選択することができません。

デジタルズーム＋

「デジタルズーム＋」を選択するとメニュー画面が消えて「D.zoom ＋」表示が現われ、［SELECT］ボタンを押すごとに画像が拡大します。また、画像サイズが有効投映画面注）よりも大きい場合には、［ポイント］ボタンの上下左右で画像を移動させることができます。

（注）1024 × 768 ドット

デジタルズーム−

「デジタルズーム−」を選択するとメニューが画面から消えて「D.zoom −」表示が現われ、［SELECT］ボタンを押すごとに画像が縮小します。また、画像サイズが有効投映画面注）よりも大きい場合には、［ポイント］ボタンの上下左右で画像を移動させることができます。

※「スクリーン」モードが「カスタム」の場合は、ノーマルサイズ以下への「デジタルズーム−」は機能しません。

メモ

※「デジタルズーム」モードから抜けるときは、［D.ZOOM］［SELECT］［ポイント］以外のボタンを押します。

※「デジタルズーム ＋ / −」で拡大、または縮小した画面サイズから、「デジタルズーム ＋ / −」でノーマルサイズの大きさに戻すと、「デジタルズーム」モードが自動的に解除されます。

※「ノーマル」モードに戻るときは、ポインタを「ノーマル」モードに合わせて［SELECT］ボタンを押します。

※ スクリーンモードを「カスタム」モードに設定しているときは、「デジタルズーム −」によるノーマルサイズ以下への縮小は機能しません。

※ 有効投映画面注）以外の画像データは、初期画面で有効投映画面注）に合うように自動的に画像サイズが変換されます。

※ システムモード（☞ 49 ページ）で「VGA、SVGA、SXGA、WXGA、UXGA」が選択されていて、上部への「キーストーン」調整が最大値のとき、「デジタルズーム−」が正しく働かないときがあります。

※ 無信号時には、「リアル」「フル」「デジタルズーム +/ −」は選択できません。「カスタム」は選択できますが、「アスペクト調整」の画面は表示されず、調整できません。

「カスタム」は次ページ

画像サイズの選択（ビデオ / コンポーネント入力時）

ノーマル

入力信号のアスペクト比を保ったまま、表示できる最大サイズで投映します。

ワイド

アスペクト比 4：3 の入力信号を、アスペクト比 16：9 のワイド画面で投映します。

画像サイズの選択（コンピュータ・ビデオ共通）

カスタム

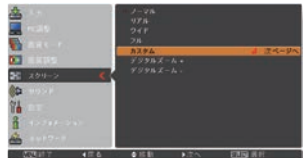
水平と垂直のスケールおよび位置を調整します。

1 ［ポイント］ボタン右を押します。
※［SELECT］ボタンを押すとスクリーンモードの「カスタム」を選択します。

2 サブメニュー２（アスペクト調整メニュー）が表示されます。

3 ［ポイント］ボタンの上下で項目を選択し、［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右を押すと詳細メニュー＊が表示されます。
※「H&V」は［SELECT］ボタンを押して、サブメニュー２で調整します。
※ 詳細メニューで［ポイント］ボタンの上下を押すと、「H&V」「共通」「リセット」以外の項目が順送りで表示されます。

4 ［ポイント］ボタンの左右で調整し、［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタンの左でサブメニューに戻ります。

カスタム

［ポイント］ボタン右

［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右

＊ 詳細メニュー

項　目

水平スケール

水平のスケールを調整します。

「水平スケール」を選択して［SELECT］ボタンを押すと詳細メニューが表示されますので、［ポイント］ボタン左右で調整します。［SELECT］ボタンでサブメニュー２に戻ります。

続きは次ページへ

前ページから

垂直スケール

垂直のスケールを調整します。

「垂直スケール」を選択して［SELECT］ボタンを押すと詳細メニューが表示されますので、［ポイント］ボタン左右で調整します。［SELECT］ボタンでサブメニュー２に戻ります。

H&V

映像のアスペクトを保持したままスケール調整するときに「オン」を選択します。

「H&V」を選択して［SELECT］ボタンを押すと、△▽が表示されます。［ポイント］ボタンの上下で「オン」「オフ」を選択し、［SELECT］ボタンを押します。

※「H&V」を「オン」に設定した場合、スケール調整は「水平スケール」で行ないます。水平スケールの数値の変化に連動して垂直スケールの数値が自動的に変化します。

水平位置

水平の位置を調整します。

「水平位置」を選択して［SELECT］ボタンを押すと詳細メニューが表示されますので、［ポイント］ボタン左右で調整します。［SELECT］ボタンでサブメニュー２に戻ります。

垂直位置

垂直の位置を調整します。

「垂直位置」を選択して［SELECT］ボタンを押すと詳細メニューが表示されますので、［ポイント］ボタン左右で調整します。［SELECT］ボタンでサブメニュー２に戻ります。

共通

調整した内容を全ての入力（「インプット」）に反映します。**

「共通」を選択して［SELECT］ボタンを押すと「はい、いいえ」の確認メニューが表示されます。「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すと登録します。登録が完了すると自動的にサブメニュー２に戻ります。

** 「全ての入力に反映する」とは、例えば、コンピュータ入力で「水平スケール」を「0」から「2」に変えて登録したとき、ビデオ入力で「カスタム」を表示させたときに「水平スケール」に「2」が表示されている、ということです。

リセット

調整した内容を全てリセットします。

「リセット」を選択して［SELECT］ボタンを押すと「はい、いいえ」の確認メニューが表示されます。「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すとリセットします。

メモ

※ 無信号時にはアスペクト関連の調整はできません。
※ 無信号時に「カスタム」の選択はできますが、サブメニュー２（アスペクト調整メニュー）には入れません。
※ 調整中に無信号になると、調整値は保持されますが、自動的にサブメニュー２（アスペクト調整メニュー）からスクリーンのサブメニューに戻ります。

各種機能の設定

「設定」メニューで各種機能の設定をする

手　順

1 [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「設定」メニューを選択します。

2 [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニューに入ります。[ポイント] ボタン上下で項目を選択して [SELECT] ボタンを押すと、さらにサブメニュー 2 が表示され、サブメニュー 2 から選択肢を選んで [SELECT] ボタンを押して決定します。決定した選択肢にはチェックマークが付きます。(右図サブメニュー 2 参照)
また、項目を選択して [SELECT] ボタンを押すと、項目に△▽が表示される場合があります。△▽が表示されたら、[ポイント] ボタン上下で項目の設定を切り換えることができます。

3 項目の設定が完了したら [ポイント] ボタン左で前の画面に戻ります。また、[MENU] ボタンを押すとメニューを終了します。

※ 操作できるボタンと用法が、メニュー下のガイドに表示されます。ガイドについては 44 ページを参照してください。

メインメニュー

[SELECT] ボタンまたは
[ポイント] ボタン右

サブメニュー

[SELECT] ボタンまたは
[ポイント] ボタン右

サブメニュー 2

[ポイント] ボタン上下で選択し、[SELECT] ボタンで決定。

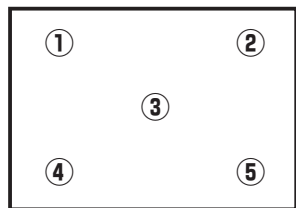
項　目

言語

画面表示の言語を切り換えます。
英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、フィンランド語、ポーランド語、ハンガリー語、ルーマニア語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語、タイ語の計 17 か国語から選択できます。

① 「言語」を選択して [SELECT] ボタンを押すと、サブメニュー 2 (言語選択メニュー) が表示されます。
② [ポイント] ボタンの上下で項目を選択し、[SELECT] ボタンで決定します。

メニュー位置

オンスクリーンメニューを表示する位置を変更します。
[SELECT] ボタンを押すたびに、右図の番号順にメニュー画面が移動します。

オートセットアップ

オートセットアップ機能の動作内容の設定を行ないます。

① 「オートセットアップ」を選択して［SELECT］ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
② ［ポイント］ボタンの上下で設定する項目を選択し、［SELECT］ボタンで決定します。

自動入力切換

信号の有無を検出し、入力のある信号で自動的に止まる機能です。 自動入力切換の動作内容を設定します。

「自動入力切換」を選択して［SELECT］ボタンを押すと△▽が表示されますので、［ポイント］ボタンの上下で設定を切り換えます。

オフ ・・・「自動入力切換」は動作しません。

オン 1 ・・・ 操作パネルの［AUTO SETUP］またはリモコンの［AUTO SET］ボタンを押したときに動作します。

オン 2 ・・・ 以下のときに動作します。

① 操作パネルまたはリモコンの［ I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンで電源を入れたとき。
② 操作パネルの［AUTO SETUP］またはリモコンの［AUTO SET］ボタンを押したとき。。☞ 36 ページ
③ プロジェクターの動作中に、選択している信号が入力されなくなったとき。

※「オン 2・①」設定時、「暗証番号ロック」が「オン」の場合には「自動入力切換」は作動しません。
※「オン 2・③」設定時、無信号になったときにオンスクリーンメニューが表示されていた場合には「自動入力切換」は作動しません。その後メニューを消しても作動しません。
※「FREEZE」、［NO SHOW］の動作中に無信号になったときは、それぞれが解除されてから信号の検出を開始します。
※「自動入力切換」の動作中に、操作パネルの［ON/STAND-BY］、［MENU］、［AUTO SETUP］、［INPUT］ボタン、リモコンの［ON/STAND-BY］、［MENU］、［AUTO SET］、［COMPUTER 1］、［COMPUTER 2］、［VIDEO］、［S-VIDEO］、［COMPONENT］ボタンを押すと、検出動作を停止します。
※ RGB 入力は、セパレートシンクのみ「自動入力切換」に対応しています。
※ 変換ケーブルで接続している場合には、入力信号が正しく検出されないことがあります。

自動 PC 調整

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」を自動で調整する機能です。自動 PC 調整の動作を設定します。

「自動 PC 調整」を選択して［SELECT］ボタンを押すと△▽が表示されますので、［ポイント］ボタンの上下で設定を切り換えます。

オフ ・・・ 動作設定を行ないません。

オン ・・・ 自動 PC 調整を行ないます。

※ 工場出荷時は「オン」に設定されています。

※ 自動 PC 調整で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は手動で調整して「カスタムモード」に登録してください。☞ 52 ～ 54 ページ

オートキーストーン

画面の上下の台形ひずみを自動で補正する機能です。オートキーストーンの動作内容を設定します。

「オートキーストーン」を選択して［SELECT］ボタンを押すと△▽が表示されますので、［ポイント］ボタンの上下で設定を切り換えます。

オフ ・・・ 動作しないように設定します。

自動 ・・・ プロジェクターを傾けると常に「オートキーストーン」が働くように設定します。

手動 ・・・ 操作パネルの「AUTO SETUP」ボタンを押したときに「オートキーストーン」が働くように設定します。

※ 工場出荷時は「自動」に設定されています。

※ 電源オン後のカウントダウン中には動作しません。カウントダウンの終了後に動作を開始します。

※「天吊り」が「オン」のとき、オートキーストーンは動作しません。また、オートキーストーンの設定も行なえません。☞ 71 ページ

※ 自動補正中に他のボタンが押されると自動補正を中止します。なお、押されたボタンの機能は動作しません。

※ 設置の状況によっては台形ひずみを完全に補正できない場合があります。その場合は手動で補正してください。

同時に３つの設定を「オフ」に設定できません。

たとえば､「自動入力切換」と「オートキーストーン」を「オフ」にしたときは、「自動 PC 調整」は選択できなくなり、自動的に「オン」に設定されます。

キーストーン

画面の台形ひずみや角ゆがみを補正します。電源ボタンで電源をオフにしても、補正内容は保持されます。

① 「キーストーン」を選択して［SELECT］ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
② ［ポイント］ボタンの上下で設定する項目を選択し、［SELECT］ボタンで決定します。

標準

標準

画面の上下左右の台形ひずみを補正します。

「標準」を選択して［SELECT］ボタンを押すと、画面中央に「キーストーン」が表示されます。表示が現れている間に［ポイント］ボタンの上下左右で台形ひずみを補正します。

コーナー補正

画面の角ゆがみを補正します。

「コーナー補正」を選択して［SELECT］ボタンを押すと、三重の四角枠の「コーナーパターン」と、角ゆがみの補正方向を表す「コーナー補正バー」が表示されます。［SELECT］ボタンを押すごとに補正対象の角が右回りで切り換わりますので、補正する角を選択し、［ポイント］ボタンの上下で水平線のゆがみを、［ポイント］ボタンの左右で垂直線のゆがみをそれぞれ補正します。

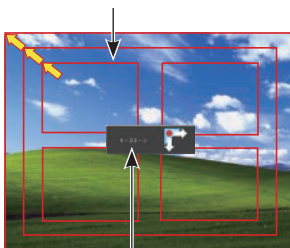
※「スクリーンモード」を「カスタム」に設定しているときは、「コーナー補正」の「コーナーパターン」は表示されず、「コーナー補正バー」だけが表示されます。

コーナー補正

コーナーパターン
（三重の四角枠）

コーナー補正バー

＜「標準」「コーナー補正」の画面表示について＞

※ 表示はそれぞれ約 10 秒間出ます。
※「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定している場合には表示は出ません。☞ 71 ページ
※ 補正された方向の△および矢印は赤色で表示されます。（無補正の場合は白色で表示されます）
※ 最大の補正位置で△および矢印の表示が消えます。
※ 補正中にリモコンまたは操作パネルの［KEYSTONE］ボタンを 3 秒以上長押しすると、補正前の状態に戻ります。

「標準」での補正と「コーナー補正」での補正は、同時に保持できません

「標準」での台形ひずみの補正と「コーナー補正」での角ゆがみの補正は、一方を実行した時点で、もう一方の補正は解除され、最後に行なった補正が有効になります。そのため、コーナー補正で画面のゆがみを補正する場合には、あらかじめ「オートセットアップ」の「オートキーストーン」（☞ 65 ページ）を「オフ」に設定してから行なってください。オートキーストーンが働くとコーナー補正は解除され、オートキーストーンによる上下の台形ひずみの補正が有効になります。

コーナーパターン

コーナーパターンの表示色（赤 / 白 / 青 / オフ）を選択します。なお「オフ」に設定すると、コーナーパターンは表示されません。

「コーナーパターン」を選択して［SELECT］ボタンを押すと△▽が表示されますので、［ポイント］ボタンの上下で選択します。

メモリー

「標準」による台形ひずみの補正または「コーナー補正」による角ゆがみの補正を、電源コードを AC コンセントから抜いた場合に、調整状態を保持するかどうかを設定します。

「メモリー」を選択して［SELECT］ボタンを押すと△▽が表示されますので、［ポイント］ボタンの上下で設定を切り換えます。

メモリー ・・・ 電源コードを AC コンセントから抜いても調整状態を保持します。

リセット ・・・ 電源コードを AC コンセントから抜くと調整状態が解除されます。

<キーストーンのご注意>

※「天吊り」（☞ 71 ページ）を「オン」に設定すると、「標準」および「コーナー補正」で行なった補正は解除され無効になります。

バックグラウンド

画像の再生前や、中断時といった信号がないときの背景画面（青 / ユーザー / 黒）を選択します。

「バックグラウンド」を選択して［SELECT］ボタンを押すと△▽が表示されますので、［ポイント］ボタンの上下で設定を切り換えます。

※「ユーザー」はキャプチャー機能（☞ 69 ページ）で取り込んだ画像を表示します。
※ キャプチャー画像が無いときは、「ユーザー」を選択できません。

オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

「オンスクリーン表示」を選択して［SELECT］ボタンを押すと△▽が表示されますので、［ポイント］ボタンの上下で設定を切り換えます。

オフ ･･･ 下記以外の画面表示は行ないません。

- メニュー表示 ☞ 44 ページ
- 電源を切るときの、「もう 1 度押すと電源が切れます」の表示
- P-TIMER のカウント表示 ☞ 40 ページ
- 自動 PC 調整の「しばらくお待ち下さい」の表示
- パワーマネージメント時のタイマー表示
- 画面サイズが大きいときに表示される「△」☞ 59 ページ

カウントダウンオフ

･･･ ランプ点灯後 30 秒のカウントダウンを表示せず、すぐに投映します。

投映画面が少し暗くても早く映像を映したいときに選択します。

オン ･･･ すべての画面表示を行ないます。

ある程度投映画面が明るくなってから、映像を映したいときに選択します。

ロゴ

ロゴの選択、画面のキャプチャー、ロゴへの暗証番号の設定をします。

① ［SELECT］ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。

② ［ポイント］ボタンの上下で項目を選択し、［SELECT］ボタンで決定します。

※「ロゴ暗証番号ロック」が「オン」のときは、「ロゴ選択」と「キャプチャー」は設定できません。

ロゴ選択

電源を入れたときのロゴ表示を選択できます。

「ロゴ選択」を選択して［SELECT］ボタンを押すと△▽が表示されますので、［ポイント］ボタンの上下で設定を切り換えます。

オフ ・・・ ロゴを画面に表示しません。

ユーザー ・・・ キャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。

初期設定 ・・・ 工場出荷時の設定を表示します。

※ キャプチャー機能（下記参照）で取り込んだ画像がないときは「ユーザー」は選択できません。

キャプチャー

投映している画面を静止画像として取り込むことができます。取り込んだ画像は、「ロゴ選択」でスタートアップロゴに、あるいは「バックグラウンド」で背景画面に設定できます。

キャプチャー

［SELECT］ボタン

「はい」で取り込みを実行

手　順

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「キャプチャー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「OK ？」の確認画面が表示されます。

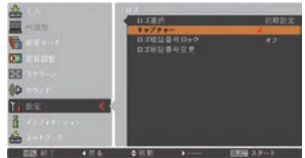
はい ・・・ 画面の取り込みを実行します。

いいえ ・・・ キャプチャーを取り消します。

2 「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すと取り込みを始めます。取り込み中は取り込みの進行を示すバーが表示されます。取り込みを途中でやめる場合には「戻る？」の「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押します。

ご注意

「戻る？」で「はい」を選択すると、すでに「ユーザー」に保存していた画像も削除されます。

※「ユーザー」に保存できるのは1画面のみです。再度キャプチャーを行なうとデータが上書きされます。
※ 無信号時には、「キャプチャー」は動作しません。
※ 適切な画面を取り込むために、「画質モード」は「標準」を選択しておいてください。
※ 画像を取り込むときは「キーストーン」と「カスタム」の調整が一時的に解除されます。
※ キャプチャー機能が使えるのは以下の信号のときだけです。
　コンピュータ・・・XGA 以下（ただし、「画面領域 H」を 1025 以上、「画面領域 V」を 769 以上に設定すると不可）
　ビデオ・・・コンポジット、S ビデオ、480p、575p、480i、575i

ロゴ暗証番号ロック

「ロゴ」の設定・変更を、暗証番号を持つ管理者以外できなくします。以下のモードを選択できます。

オフ ・・・ 暗証番号なしで「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更ができます。

オン ・・・ 暗証番号を入力しないと、「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更はできません。

ロゴ暗証番号ロック

［SELECT］ボタン

現在の暗証番号を入力して承認

ロゴ暗証番号ロックのオン / オフを切り換える

手　順

1「ロゴ暗証番号ロック」を選択し、［SELECT］ボタンを押します。暗証番号を入力する画面が表示されます。
※「オン」「オフ」のどちらを選択していても暗証番号の入力画面が表示されます。

2 現在設定されている暗証番号を入力します。
※ 下記の「暗証番号の入力方法」を参照してください。

3 暗証番号が承認されるとサブメニュー 2 に戻ります。

4［ポイント］ボタンの上下で「オン」「オフ」を切り換えます。

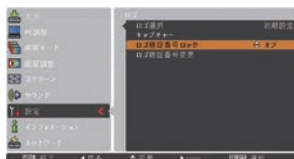
暗証番号の入力方法

1［ポイント］ボタンの上下で 0 ～ 9 の数字を選択し、［ポイント］ボタン右でポインタを 2 けた目に移動します。（1 けた目の表示が「＊」に変わります）この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。

2 4 けた全ての数字を入力したらポインタを［ポイント］ボタン右で「セット」に移動します。

3［SELECT］ボタンを押すと「はい」、「いいえ」の表示が現れます。

4［ポイント］ボタンの上下で「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押します。

※ 工場出荷時のロゴ暗証番号の数字は、「1234」です。
※ 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、［ポイント］ボタン上下で数字を選び直します。
※「キャンセル」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押すと現在の作業を中止し、サブメニュー 2 に戻ります。
※「ロゴ暗証番号」と入力した数字 (見た目は「＊」) が赤く表示された場合には、入力エラーが発生しています。

ロゴ暗証番号変更

ロゴの暗証番号を変更します。

手　順

ロゴ暗証番号変更

［SELECT］ボタン

現在の暗証番号を
入力して承認

新しい暗証番号を入力

「はい」で新しい暗証番号の
登録完了

1 「ロゴ暗証番号変更」を選択し、［SELECT］ボタンを押します。暗証番号を入力する画面が表示されます。

2 現在設定されている暗証番号を入力します。
※ 前記の「暗証番号の入力方法」を参照してください。

3 暗証番号が承認されると「新ロゴ暗証番号」の画面が表示されます。

4 「新ロゴ暗証番号」に、変更後の新しい暗証番号を入力します。
※ このときは暗証番号の承認時と異なり、入力した数字が見えます。変更後の数字をはっきり確認していただけるように数字を見せています。

5 新しい暗証番号を入力したらポインタを［ポイント］ボタン右で「セット」に移動し、［SELECT］ボタンを押して決定します。

6 「OK ？」の確認メニューが表示されますので、［ポイント］ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせて［SELECT］ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

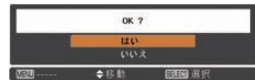
メモ
この機能の操作をやめるときは［ポイント］ボタンの左右で「キャンセル」を選択し、［SELECT］ボタンを押してサブメニュー 2 に戻ります。

天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

「天吊り」を選択して［SELECT］ボタンを押すと△▽が表示されますので、［ポイント］ボタンの上下で設定を切り換えます。

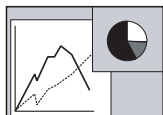
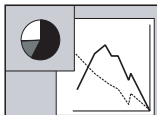
オフ（通常の画像）

オン（天吊り投映設定時）

＜「オン」設定時のご注意＞
・台形ひずみの補正およびコーナー補正（☞ 37、38、66 ページ）は解除されます。
・オートキーストーン（☞ 65 ページ）は作動しません。

リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから投映するときに設定します。

「リア投映」を選択して［SELECT］ボタンを押すと△▽が表示されますので、［ポイント］ボタンの上下で選択します。

オフ (通常の画像)

パワーマネージメント

パワーマネージメント機能の動作設定を行ないます。

① 「パワーマネージメント」を選択して［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右を押すと、サブメニュー 2 が表示されます。

② ［ポイント］ボタンの上下で設定する項目を選択し、［SELECT］ボタンで決定します。

パワーマネージメント

オフ ･･･ パワーマネージメント機能を解除します。

待機 ･･･ 設定された時間が経つとランプが消灯し、ランプ冷却動作に入ります。ランプの冷却が完了すると［POWER］インジケータが緑の点滅を始めます。このときに信号が入力されたりプロジェクターが操作されると、ランプが点灯して画像が投映されます。

シャットダウン

･･･ 設定された時間が経つとランプが消灯して電源が切れます。

タイマーの設定

1 ～ 30 分の範囲で設定できます。

「タイマー」を選択して［SELECT］ボタンを押すと△▽が表示されますので、［ポイント］ボタン上下で数値を変更します。

タイマーの設定

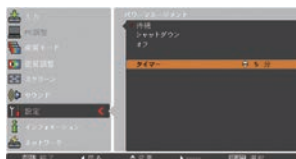
入力信号なし

04 : 50

ランプ消灯までの時間

※ 工場出荷時は、動作が「待機」、タイマーが「5 分」に設定されています。

※「FREEZE」（☞ 39 ページ）および「NO SHOW」（☞ 40 ページ）が働いているときは、パワーマネージメントは動作しません。

※ パワーマネージメントが働くと、「P-TIMER」（☞ 40 ページ）はリセットされます。

オンスタート

電源コードを接続すると、リモコンまたは操作パネルの［I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンを押さなくても自動的にプロジェクターの電源を入れる機能です。

「オンスタート」を選択して［SELECT］ボタンを押すと△▽が表示されますので、［ポイント］ボタンの上下で選択します。

オフ ･･･ 通常の電源の入・切を行ないます。電源コードを接続しても、リモコンまたは操作パネルの［I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。

オン ･･･ 電源コードを接続するとプロジェクターの電源が入ります。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

<「オン」設定時のご注意>

※ 本機は［ON/STAND-BY］ボタンを押して電源を切ったら、すぐに電源コードをプロジェクターから抜けますが、ランプの温度が高いまま再度電源コードを接続した場合、すぐには電源が入りません。ファンが回転していったんランプを冷却した後、自動的に電源が入ります。

クローズドキャプション

クローズドキャプション（字幕）の表示の選択と、表示する色を設定します。

① 「クローズドキャプション」を選択して［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右を押すと、サブメニュー 2 が表示されます。

② ［ポイント］ボタンの上下で設定する項目を選択し、［SELECT］ボタンで決定します。

クローズドキャプション

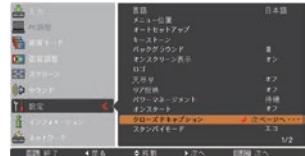
クローズドキャプション

クローズドキャプションの表示（オフ /CC1/CC2/CC3/CC4）を選択します。なお、「オフ」に設定するとクローズドキャプションは表示されません。

「クローズドキャプション」を選択して［SELECT］ボタンを押すと△▽が表示されますので、［ポイント］ボタン上下で設定を切り換えます。

カラー

クローズドキャプションの表示色（カラー / ホワイト）を設定します。

「カラー」を選択して［SELECT］ボタンを押すと△▽が表示されますので、［ポイント］ボタン上下で選択します。

続きは次ページへ

前ページから

<クローズドキャプションのご注意>

※ 工場出荷時は「オフ」、「カラー」に設定されています。
※ この機能は、入力信号がコンポジット、S-ビデオまたはComponentで、かつシステムがAuto、NTSCまたは480iのときだけ使用できます。
※ システムがAutoであっても、NTSCあるいは480i以外の信号の場合は使用できません。
※ メニュー画面などが表示されているときには、クローズドキャプションは表示されません。

スタンバイモード

待機中の消費電力の設定をする機能です。通常は「エコ」で使用してください。

「スタンバイモード」を選択して［SELECT］ボタンを押すと△▽が表示されますので、［ポイント］ボタンの上下で設定を切り換えます。

エコ・・・待機中の消費電力を抑えることができます。

※ スタンバイ時に、プロジェクターをネットワークから電源を入れられません。電源を入れるには、本体またはリモコンで電源をオンにする必要があります。電源を入れると、ネットワークから制御可能になります。

ネットワーク・・・待機中の消費電力が「エコ」より大きくなります。

※ スタンバイ時に、プロジェクターをネットワークから電源を入れられます。

ランプコントロール

ランプの明るさを「ハイモード」「ノーマルモード」、「エコモード」の3段階で設定できます。ご使用環境に合ったモードを選択してください。

「ランプコントロール」を選択して［SELECT］ボタンを押すと△▽が表示されますので、［ポイント］ボタンの上下で設定を切り換えます。

ハイモード・・・最も明るい設定です。

ノーマルモード・・・ハイモードとエコモードの中間の明るさです。

エコモード・・・明るさ（ランプの消費電力）を抑えます。

※ 消費電力を抑えたいときには「エコ」モードをおすすめします。

リモコンコード

本機は 2 種類の異なるリモコンコードで操作することができます。工場出荷時は「コード 1」に設定されており、2 台目のプロジェクター用（拡張用）として「コード 2」に設定することができます。本機を 2 台ご使用の場合、リモコンコードを別々に設定しておくと誤動作を防止できます。

① 「リモコンコード」を選択して［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右を押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
② ［ポイント］ボタンの上下で選択し、［SELECT］ボタンで決定します。

コード 1 ･･･ 1 台目のプロジェクター用に使用します。

コード 2 ･･･ 2 台目のプロジェクター用（拡張用）に使用します。

※ プロジェクター本体のコード を「コード 2」に設定したときは、リモコン本体のコードも「コード 2」に設定する必要があります。☞ 23 ページ

セキュリティ

操作ボタンのロックや、暗証番号でプロジェクターの操作をロックする設定をします。

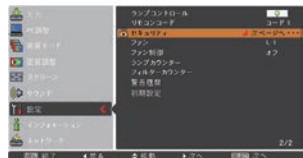
① 「セキュリティ」を選択して［SELECT］ボタンを押すとサブメニュー 2 が表示されます。
② ［ポイント］ボタンの上下でサブメニュー 2 の項目を選択し、［SELECT］ボタンで決定します。

キーロック

操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。たとえば、リモコンをプロジェクターの鍵として使うこともできます。

① 「キーロック」を選択して［SELECT］ボタンを押すと△▽が表示されますので、［ポイント］ボタンの上下で設定を切り換えます。
② ［SELECT］ボタンを押して決定すると「OK ？」の確認画面が表示されます。
③ 「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すと登録が完了します。「いいえ」を選択して［SELECT］ボタンを押すと登録を中止し、サブメニュー 2 に戻ります。

※ △▽の表示で設定を切り換える場合、通常は［ポイント］ボタン上下で設定を切り換えた時点で設定が完了しますが、「キーロック」については、設定を切り換えた後、［SELECT］ボタンを押して決定する必要があります。

セキュリティ

［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右でサブメニュー 2 へ

選択肢は次ページへ

前ページから

 ・・・ キーロックは「オフ」の状態です。

 ・・・ 操作パネルの操作をロックします。

・・・ リモコンの操作をロックします。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。
※ 解除できなくなったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

暗証番号ロック

暗証番号により、プロジェクターの管理者以外のプロジェクターの操作を防止します。以下のモードを選択できます。

オフ ・・・「暗証番号ロック」を解除します。通常の操作をすることができます。

オン 1 ・・・ 電源を入れるときに暗証番号が要求されます。

オン 2 ・・・ 一度入力した暗証番号は、電源コードを抜くまで有効です。電源コードを抜くと、次に電源を入れたときに暗証番号が要求されます。電源コードを抜かずに、リモコンまたは操作パネルの［I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンで電源の入・切をする場合には、暗証番号は要求されません。

暗証番号ロック

［SELECT］ボタン

現在の暗証番号を入力して承認

暗証番号ロックの設定を切り換える

手　順

1 「暗証番号ロック」を選択し、［SELECT］ボタンを押します。暗証番号を入力する画面が表示されます。
※「オン」「オフ」のどちらを選択していても暗証番号の入力画面が表示されます。

2 現在設定されている暗証番号を入力します。
※ 次ページの「暗証番号の入力方法」を参照してください。

3 暗証番号が承認されると、サブメニュー 2 に戻り、「暗証番号ロック」の設定を切り換えることができます。

4 ［ポイント］ボタンの上下で設定を切り換えます。
※「オン 1」、「オン 2」のいずれかを選択すると、メニュー左下に鍵のアイコンが表示され、暗証番号ロックが掛かっていることをお知らせします。

暗証番号ロックの「オン 1」、「オン 2」いずれかが選択されていることを表しています。

暗証番号の入力方法

1 ［ポイント］ボタンの上下で 0 ～ 9 の数字を選択し、［ポイント］ボタン右でポインタを 2 けた目に移動します。（1 けた目の表示が「＊」に変わります。）この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。
2 4 けた全ての数字を入力したらポインタを［ポイント］ボタン右で「セット」に移動します。
3 ［SELECT］ボタンを押すと「はい」、「いいえ」の確認表示が現れます。
4 ［ポイント］ボタンの上下で「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押します。

※ 工場出荷時の暗証番号の数字は「1234」です。
※ 数字の入力をやり直すときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、［ポイント］ボタン上下で数字を選び直します。
※「キャンセル」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押すと現在の作業を中止し、サブメニュー 2 に戻ります。
※「暗証番号」と入力した数字 (見た目は「＊」) が赤く表示された場合には、入力エラーが発生しています。

暗証番号変更

暗証番号を変更します。

手　順

1 「暗証番号変更」を選択し、［SELECT］ボタンを押します。暗証番号を入力する画面が表示されます。
2 現在設定されている暗証番号を入力します。
※ 上記の「暗証番号の入力方法」を参照してください。
3 暗証番号が承認されると「新暗証番号」の画面が表示されます。
4 「新暗証番号」に、変更後の新しい暗証番号を入力します。
※ このときは暗証番号の承認時と異なり、入力した数字が見えます。変更後の数字をはっきり確認していただけるように数字を見せています。
5 新しい暗証番号を入力したらポインタを［ポイント］ボタン右で「セット」に移動し、［SELECT］ボタンを押して決定します。

暗証番号変更

［SELECT］ボタン

現在の暗証番号を入力して承認

新しい暗証番号を入力

続きは次ページへ

前ページから

6 「OK ？」の確認メニューが表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

「はい」で新しい暗証番号の登録完了

メモ

- この機能の操作をやめるときは [ポイント] ボタンの左右で「キャンセル」を選択し、[SELECT] ボタンを押してサブメニュー 2 に戻ります。

ファン

電源を切ったときの冷却ファンの回転動作を切り換えることができます。

「ファン」を選択して [SELECT] ボタンを押すと△▽が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で設定を切り換えます。

L1 ・・・ 自動でファンの回転速度を調整します。
「L2」より大きい音がします。
電源を切ったとき、冷却のためにファンの回転速度があがり、投映時よりもファンの音が気になるときがあります。

L2 ・・・ ファンの回転速度を投映時と同じに調整し、ファンの音が大きくならないようにします。ただし、「L1」よりファンの停止に時間がかかります。

※ 工場出荷時は「L2」に設定されています。

ファン制御

プロジェクターの設置場所（高地での使用）などによって、冷却ファンの回転動作を切り換えます。

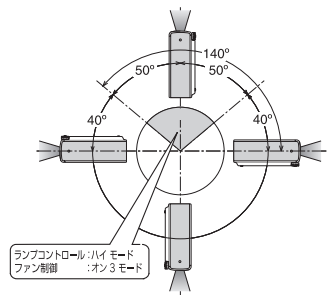
「ファン制御」を選択して［SELECT］ボタンを押すと△▽が表示されますので、［ポイント］ボタンの上下で設定を切り換えます。

オ　フ	・・・通常の回転速度です。
オン 1	・・・海抜約 1200m を越える場所で使用するときに設定します。
オン 2	・・・「オン 1」で有効な冷却効果が得られないときに設定します。
オン 3	・・・海抜約 1600m までの場所で、水平面からの角度が 40 度から 140 度の範囲でプロジェクターを上向きに設置するときに設定します。 詳しくは下記を参照してください。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。
※ これらの設定が適切でないと、プロジェクターの寿命を縮めるほか、故障の原因にもなります。

上向き方向でのランプコントロールとファン制御の設定

海抜約 1600m までの場所で、右図のようにプロジェクターを水平面からの角度が 40 度から 140 度の範囲で上向きに設置するときは、ランプの保全のために「設定」メニューの「ランプコントロール」（☞ 74 ページ）を「ハイ」モードに､「ファン制御」を「オン３」モードにしてください。

さらに高地で使用する場合は、設置角度にかかわらず、「ファン制御」を「オン２」モードにして使用してください。

ランプカウンター

ランプ使用時間の表示とリセットをします。

ランプカウンター

使用時間が表示されます。

ランプカウンターリセット

ランプカウンターをリセットします。
ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると「ランプ交換」のお知らせ表示が消えます。

①「ランプカウンターリセット」を選択して［SELECT］ボタンを押すと「ランプカウンターリセット？」の確認画面が表示されます。
②「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押します。
③「OK ?」の確認画面が表示されます。「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すと、カウンターがリセットされ、サブメニュー 2 に戻ります。
※「いいえ」に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。

ランプカウンターリセット

注意 ランプ交換を行なったとき以外はリセットしないでください。

フィルターカウンター

エアフィルターに関する設定や使用時間のリセットをします。

①「フィルターカウンター」を選択して［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右を押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
②［ポイント］ボタンの上下で選択し、［SELECT］ボタンで決定します。

フィルターカウンター

使用時間を表示します。

タイマー

エアフィルターのお掃除時期を知らせる表示を表示させるまでの時間を設定します。（オフ /100 時間 /200 時間 /300 時間）

「タイマー」を選択して［SELECT］ボタンを押すと△▽が表示されますので、［ポイント］ボタンの上下で設定を切り換えます。

フィルターカウンター

［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右でサブメニュー 2 へ

フィルターカウンターリセット

フィルターカウンターのリセットをします。
エアフィルターの掃除後、または交換後は必ずフィルターカウンターをリセットしてください。リセットすると「フィルター警告」のお知らせ表示が消えます。

① 「フィルターカウンターリセット」を選択して［SELECT］ボタンを押すと「フィルターカウンターリセット？」の確認画面が表示されます。
② 「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押します。
③ 「OK ?」の確認画面が表示されます。「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すと、カウンターがリセットされ、サブメニュー 2 に戻ります。
※「いいえ」に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。

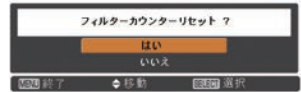
フィルターカウンターリセット

 注意 エアフィルターの掃除または交換を行なったとき以外はリセットしないでください。

エアフィルターのお掃除時期をお知らせする画面表示について

投映中にエアフィルターのお掃除推奨時間になったとき、画面右上に表示されます。（約 10 秒間表示）
その後、下記の操作をしたときにも表示されます。
- 電源を入れたとき（約 4 秒間表示）
- 「入力」を切り換えたとき（約 4 秒間表示）

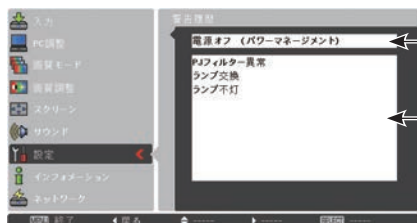
フィルター警告

※「オンスクリーン表示」を「オフ」(68 ページ) に設定しているとき、または「FREEZE」、「NO SHOW」(39、40ページ) が動作中のときは表示されません。
※「フィルターカウンター」をリセットすると、このお知らせ表示が消えます。

警告履歴

プロジェクターが表示した警告が表示されます。最新のものから 10 件表示されます。

「警告履歴」を選択して［SELECT］ボタンまたは［ポイント］ボタン右を押すと警告履歴が表示されます。

※ 履歴が 10 件を超えると履歴の古いものから削除されます。
※「初期設定」を実行すると、全て削除されます。

警告履歴

初期設定

下記以外の設定を、工場出荷状態に戻します。

- ランプカウンター（使用時間）
- ロゴ暗証番号ロック
- 暗証番号ロック
- ユーザーロゴ
- フィルターカウンター（使用時間・タイマー）

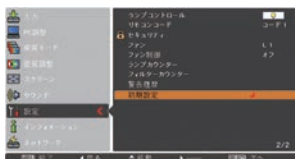
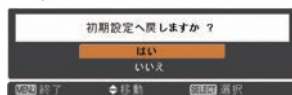
（手順）

① 「初期設定」を選択して［SELECT］ボタンを押すと「初期設定へ戻しますか？」の表示が現れます。
② 「はい、いいえ」の確認画面で「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押します。
③ 「OK ?」の確認画面が表示されます。「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すと、設定が工場出荷時に戻ります。

※「いいえ」に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

初期設定

ご注意

この設定が実行されると、お客さまが設定された内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態に戻ります。

保守とお手入れ

ランプの交換

[LAMP REPLACE] インジケータと［ランプ交換］表示について

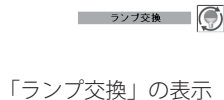
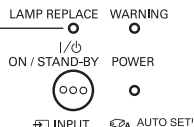
［LAMP REPLACE］インジケータ (黄) の点灯は、ランプ交換時期の目安です。［LAMP REPLACE］インジケータが点灯したときは、ランプをすみやかに交換してください。
ランプを交換するまで電源「ON(入)」のときに点灯します。なお、［LAMP REPLACE］インジケータが点灯する前に寿命が尽きる場合もあります。
また、画面右上に現れる「ランプ交換」表示でもランプ交換時期をお知らせします。「ランプ交換」が表示されたら、すみやかにランプを交換してください。

ランプ交換

「ランプ交換」の表示

※ 約 10 秒間表示されます。
※「オンスクリーン表示」（68 ページ）を「オフ」にしているときは表示されません。

［LAMP REPLACE］インジケータ

LAMP REPLACE　WARNING
I/⏻
ON / STAND-BY　POWER
INPUT　AUTO SET

ランプ交換のしかた

ランプの交換はランプハウスごと行ないます。必ず指定のランプハウスを取りつけてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

- **交換ランプの品番：POA-LMP111**
  (サービス部品コード：610 333 9740)
- **プロジェクターの品番：LP-XU106**

動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45 分以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。

交換手順は次ページへ

前ページから

手　順

1 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず 45 分以上放置してください。

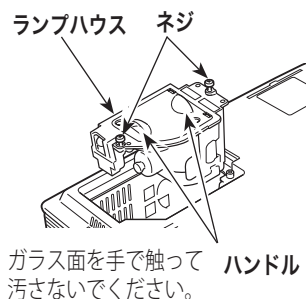
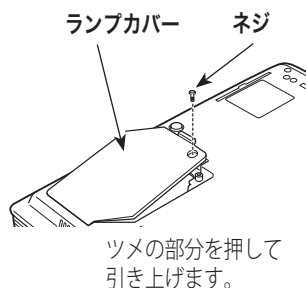
2 ランプカバーのネジをはずし、ツメの部分を押して引き上げ、ランプカバーを外します。

3 ランプハウスの 2 本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。

4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2 本のネジを締めて固定します。

5 ランプカバーを取り付け、ネジを締めて固定します。

ツメの部分を押して
引き上げます。

ガラス面を手で触って
汚さないでください。

ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると［LAMP REPLACE］インジケータ (黄) の点灯が消えます。
ランプカウンターのリセットのしかたは、「各種機能の設定」の「ランプカウンター」を参照してください。
☞ 80 ページ

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズキャップをはめ、ケースなどに納めて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れは、ネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと、変質したり塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブロワーブラシやレンズクリーナー (カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー) で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

● エアフィルターのお手入れ ●

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。(掃除の仕方は次ページを参照)

ご注意

可燃性の溶剤やエアースプレーをプロジェクターやその近くで絶対に使用しないで下さい。ランプの点灯により製品内部が非常に高温になっているため、電源を抜いた後でも爆発、火災が発生することがあります。また、可燃性のエアスプレーでなくとも冷気により内部部品が故障するおそれがあります。

エアフィルターはこまめにお掃除してください

エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターや吸気口にホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇をまねいて故障の原因になります。エアフィルターや吸気口は、こまめに掃除してください。☞ 12ページ

1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。掃除は必ず電源を切ってから行なってください。

2 エアフィルターを上に引き上げて外します。

3 エアフィルターのホコリをブラシなどで取ります。

4 エアフィルターを取り付けます。

エアフィルター
中央のツメを上に引き上げて取り外します。

掃除の目安

一般的に約 200 時間ご使用になるごとにエアフィルターを掃除してください。

※ ご使用の環境や、ご使用時間によってエアフィルターの汚れは変わりますが、こまめに掃除することをおすすめします。

エアフィルターの汚れがひどいときは、掃除機などでホコリを取りのぞいてください。（水洗いはしないでください）
それでも汚れが取れないときや、エアフィルターが古くなったときには新しいものと交換してください。取り替え用エアフィルター（別売）についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

取り替え用エアフィルターの品番：　フィルター A　610-338-3682
フィルター B　610-333-9290

お掃除の際にご注意ください

- エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどが汚れ、画質を損なう原因になります。
- エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。
また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

	インジケータ			プロジェクターの状態
	POWER 緑 / 赤	WARNING 赤	LAMP REPLACE 黄	
正常な動作のとき	●（消灯）	●（消灯）	●（消灯）	電源コードがコンセントから抜けています。
	点灯：赤	●（消灯）	＊	プロジェクターはスタンバイ状態です。［I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンを押すと動作します。
	○（点灯：緑）	●（消灯）	＊	プロジェクターは正常に動作しています。
	点滅：赤	●（消灯）	＊	ランプの冷却中です。[POWER] インジケータが赤の点灯に変わるまで［I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンを押して始動することはできません。
	点滅：緑	●（消灯）	＊	パワーマネージメントモードになっています。プロジェクターを操作するとランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。

○ ･･･ 点灯：緑　　（斜線）･･･ 点灯：赤　　（灰色）･･･ 点灯：黄

（点滅）○ ･･･ 点滅：緑　　（点滅・斜線）･･･ 点滅：赤　　● ･･･ 消灯

＊ で表されているインジケータについて

＊ で表されているインジケータは、他のインジケータがどのような状態のときでも該当のインジケータが点灯・点滅することを意味しています。たとえば、正常動作時に［POWER］インジケータが緑色で点灯するとき、［LAMP REPLACE］インジケータは点灯・消灯のいずれの場合もある、ということです。

	インジケータ			プロジェクターの状態
	POWER 緑 / 赤	WARNING 赤	LAMP REPLACE 黄	
内部の温度に異常があるとき	点滅：赤	点滅：赤	*	プロジェクターの内部温度が高くなっています。[I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、[POWER］インジケータが点灯（下記枠内の状態）に変わります。
	点灯：赤	点滅：赤	*	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。（[WARNING］インジケータは点滅したままです）[I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンを押すと、[WARNING］インジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行なってください。
内部電源に異常があるとき	消灯	点灯：赤	*	プロジェクターの内部に異常が検出されました。[I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。一度電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、電源を入れ直してください。再び電源が切れて［WARNING］インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理を修理相談窓口へご依頼ください。[WARNING］インジケータが点灯したまま放置しないでください。火災や感電の原因となります。
ランプに異常があるとき	*	*	点灯：黄	ランプの寿命です。すみやかにランプを新しいものと交換してください。ランプ交換後は、ランプカウンターをリセットしてください。(☞80ページ）［LAMP REPLACE］インジケータが点灯するまでの時間は、ご使用状況（ランププコントロールの設定）によって異なります。

○ ･･･ 点灯：緑　　◎ ･･･ 点灯：赤　　● ･･･ 点灯：黄

○ ･･･ 点滅：緑　　◎ ･･･ 点滅：赤　　● ･･･ 消灯

[LAMP REPLACE] インジケータについて

[LAMP REPLACE] インジケータが点灯する条件になったときには、他のインジケータの状態に関係なく点灯します。

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、次のことをお確かめください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源・初期設定	電源が入らない	● 電源コードは接続されていますか。	29
		● 電源が入っていますか。［ I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンを押してみてください。	30
		●［POWER］インジケータが消えているときは、［ I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源が 入りません。	87～88
		●［WARNING］インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており［ I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が 下がるまでお待ちください。	88
		●「キーロック」が働いていませんか。リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンを押してみてください。	75～76
	電源を入れたら、暗証番号を要求された	●「暗証番号ロック」が設定されています。登録した（または工場出荷時の）暗証番号を入力してください。「暗証番号ロック」の設定の変更は、設定メニューの「セキュリティ」-「暗証番号ロック」で行ないます。	76～77
オープニング	オープニング画面が出ない	●「オンスクリーン表示」が「オフ」または「カウントダウンオフ」になっていませんか。設定メニューの「オンスクリーン表示」を確認してください。	68
	オープニング画面が初期設定の画像とちがう	●「ロゴ選択」が「ユーザー」または「オフ」になっていませんか。設定メニューの「ロゴ」-「ロゴ選択」を確認してください。	68～69
	インプットモードが自動的に切り換わる（切り換わらない）	●「自動入力切換」が「オン 2」（または「オン 1」、「オフ」）になっていませんか。設定メニューの「オートセットアップ」-「自動入力切換」を確認してください。	64
	インプットモードとランプコントロールの表示以外の表示があらわれた	● ランプまたはエアフィルターの状態をお知らせしています。ランプまたはエアフィルターを確認してください。	81、83

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
画像・画質	画像が映らない	● コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。	26～28
		● 電源を入れたあとの約 30 秒間は、オープニング画面が出て画像は映りません。(「オンスクリーン表示」の設定が「オフ」および「カウントダウンオフ」のときをのぞく)	30、68
		● レンズキャップを取りましたか。	16
		● コンピュータモードのときは、コンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っているか確認してください。	49～50
		● 使用温度範囲（5℃～ 35℃）からはずれていませんか。	11
		●「NO SHOW」モードになっていませんか。リモコンの［NO SHOW］ボタンを押してみてください。	40
		● コンピュータが外部出力に切り換わっていますか。出力の切換はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。	26
		● コンピュータを再起動してみてください。	
	画像が不鮮明	● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。	36
		● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。	24
		● スクリーンに対して過度に斜めに投映しているときは、画面に台形ひずみ (あおり) ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。	24
		● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。	11
		● レンズが汚れたり、くもってはいませんか。レンズのお手入れをしてください。	85
	画面が暗い	●「コントラスト」や「明るさ」が、正しく調整されていますか。画質調整メニューで調整してください。	56～58
		●「イメージモード」が、正しく選択されていますか。画質モードメニューを確認してください。	55
		●「ランプコントロール」で、「エコモード」が選択されていませんか。「エコモード」は他のモードよりも暗くなります。	39、74
		● ランプ交換時期が来ていませんか。ランプの輝度は寿命が近づくにつれて徐々に暗くなる性質があります。［LAMP REPLACE］インジケータ (黄) の点灯でランプ交換時期をお知らせします。［LAMP REPLACE］インジケータが点灯したら新しいランプに交換してください。	83、88

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
	画像の色がおかしい・色が出ない	● 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、コンピュータのシステムモードは合っていますか。また、画質調整メニューを確認してください。 ● 画質モードが「黒（緑）板」または「カラーボード」になっていませんか。リモコンの［IMAGE］ボタン、または画質モードメニューで設定を確認してください。	47～50 56～58 55
	逆さまに映っている	●「リア投映」や「天吊り」機能が「オン」になっていませんか。設定メニューの「リア投映」または「天吊り」を確認してください。	71、72
	画像がゆがんだり切れたりする	● PC 調整メニューやスクリーンメニューを確認、調整してください。	51～54 59～61
設定・操作・調整	自動 PC 調整が働かない	● 入力信号を確認してください。 ● 入力メニューのシステムモードで、480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i が選択されているときは、自動 PC 調整機能は働きません。	93～95 51
	表示されない機能がある	●「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。設定メニューの「オンスクリーン表示」を確認してください。	68
	電源を切る前の設定が残っていない	● 項目の調整後に「メモリー」を実行しましたか。「メモリー」で登録しないと保存されない項目があります。	53、56
	「パワーマネージメント」が働かない	●「FREEZE」、「NO SHOW」の動作中は「パワーマネージメント」は働きません。	72
	「キャプチャー」が働かない	● 無信号状態ではないですか。接続を確認してください。	69、 26～28
	選択できないメニューがある	● ビデオ入力画面とコンピュータ入力画面では、選択できるメニューにそれぞれ制限があります。	45
	オートセットアップが正しく作動しない	● 設定が「オフ」になっていませんか。設定メニューの「オートセットアップ」を確認してください。 ●「天吊り」が「オン」になっていませんか。設定メニューの「天吊り」を確認してください。	64 71
設定・操作・調整	プロジェクターを傾けたのにキーストーンが働かない	● リモコンの［AUTO SET］ボタン、または操作パネルの［AUTO SETUP］ボタンを押してみてください。 ●「オートキーストーン」の設定が「オフ」や「手動」になっていませんか。設定を確認してください。	36、65 65
	自動的にランプが消灯する	● 工場出荷時の設定では「パワーマネージメント」が「待機」に設定されています。設定を確認してください。	72
	操作パネルで操作できない	●「キーロック」で操作パネルからの操作をロックしていませんか。リモコンで操作し、設定メニューの「セキュリティ」-「キーロック」を確認してください。	75～76

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
リモコン	リモコンで操作できない	● 電池は正しく入っていますか。＋－を正しく入れてください。	22
		● 電池がなくなっていませんか。新しい電池と交換してください。	22
		● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。障害物があれば移動させて、リモコンをリモコン受信部に向けて操作してください。	23
		● リモコンの受信範囲からはずれていませんか。受信範囲で操作してください。	23
		● リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。	23
		●「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。本体で操作し、設定メニューの「セキュリティ」-「キーロック」を確認してください。	75～76
音声	音が出ない	● コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。	26～28
		● 音量が最小になっていませんか。［VOLUME ＋］ボタンを押してみてください。	42
		● 消音状態になっていませんか。［MUTE］ボタンを押すか、［VOLUME ＋］ボタンを押してみてください。	42
		●［AUDIO OUT］端子にプラグがささっていませんか。［AUDIO OUT］端子にプラグがささっていると内蔵スピーカから音は出ません。	26～28
		● 抵抗内蔵のオーディオケーブルを使用していませんか。抵抗なしのオーディオケーブルを使用してください。	
		● 入力メニューで選択した信号の映像が投映されていますか。接続していても映像が投映されていなければ音は出ません。接続を確認してください。	26～28
その他	インジケータが点滅・点灯している	●「インジケータ表示とプロジェクターの状態」で、プロジェクターの動作を確認してください。	87～88
	キーロックの解除ができない ロゴ暗証番号・暗証番号を忘れた	● お手数ですが、お買い上げの販売店または修理相談窓口へご相談ください。	
	ボタンを押したのに、！が表示された	● プロジェクターがその操作を受け付けられないことをお知らせする表示です。接続や入力信号などを確認してみてください。	

コンピュータシステムモード一覧

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。（「カスタムモード１～５」は含みません。）接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA1	640x480	31.47	59.88
VGA2	720x400	31.47	70.09
VGA3	640x400	31.47	70.09
VGA4	640x480	37.86	74.38
VGA5	640x480	37.86	72.81
VGA6	640x480	37.50	75.00
VGA7	640x480	43.269	85.00
MAC LC13	640x480	34.97	66.60
MAC 13	640x480	35.00	66.67
480p	640x480	31.47	59.88
575p	768x575	31.25	50.00
575i	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	15.625	50.00
480i	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	15.734	60.00
SVGA1	800x600	35.156	56.25
SVGA2	800x600	37.88	60.32
SVGA3	800x600	46.875	75.00
SVGA4	800x600	53.674	85.06
SVGA5	800x600	48.08	72.19
SVGA6	800x600	37.90	61.03
SVGA7	800x600	34.50	55.38
SVGA8	800x600	38.00	60.51
SVGA9	800x600	38.60	60.31
SVGA10	800x600	32.70	51.09
SVGA11	800x600	38.00	60.51
MAC16	832x624	49.72	74.55
MAC19	1024x768	60.24	75.08
XGA1	1024x768	48.36	60.00
XGA2	1024x768	68.677	84.997
XGA3	1024x768	60.023	75.03
XGA4	1024x768	56.476	70.07
XGA5	1024x768	60.31	74.92

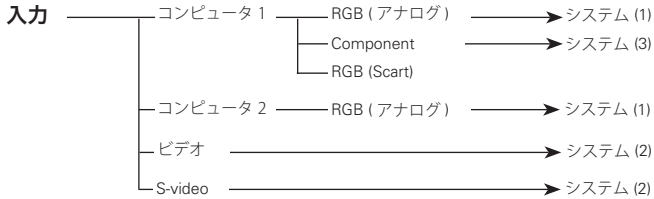
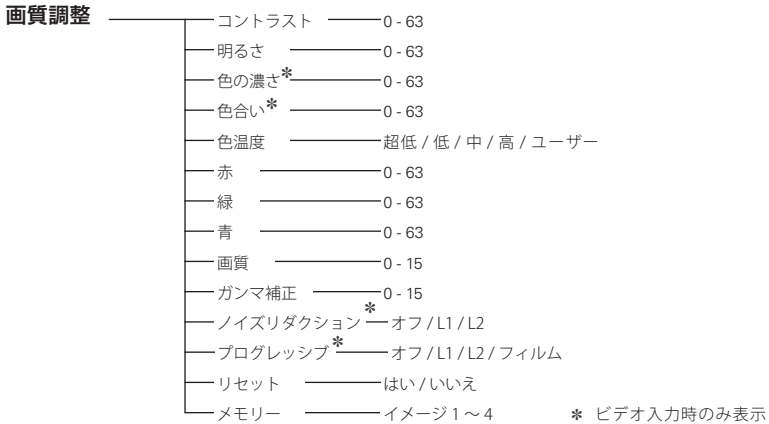
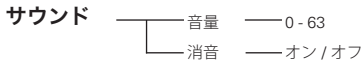
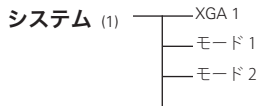
画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	
XGA6	1024x768	48.50	60.02	
XGA7	1024x768	44.00	54.58	
XGA8	1024x768	63.48	79.35	
XGA9	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	36.00	87.17	
XGA10	1024x768	62.04	77.07	
XGA11	1024x768	61.00	75.70	
XGA12	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	35.522	86.96	
XGA13	1024x768	46.90	58.20	
XGA14	1024x768	47.00	58.30	
XGA15	1024x768	58.03	72.00	
SXGA1	1152x864	64.20	70.40	
SXGA2	1280x1024	62.50	58.60	
SXGA3	1280x1024	63.90	60.00	
SXGA4	1280x1024	63.34	59.98	
SXGA5	1280x1024	63.74	60.01	
SXGA6	1280x1024	71.69	67.19	
SXGA7	1280x1024	81.13	76.107	
SXGA8	1280x1024	63.98	60.02	
SXGA9	1280x1024	79.976	75.025	
SXGA10	1280x960	60.00	60.00	
SXGA11	1152x900	61.20	65.20	
SXGA12	1152x900	71.40	75.60	
SXGA13	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	50.00	86.00	
SXGA14	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	50.00	94.00	
SXGA15	1280x1024	63.37	60.01	
SXGA16	1280x1024	76.97	72.00	
SXGA17	1152x900	61.85	66.00	
SXGA18	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	46.43	86.70	
SXGA19	1280x1024	63.79	60.18	
SXGA20	1280x1024	91.146	85.024	✻1
SXGA+ 1	1400x1050	63.970	60.190	
SXGA+ 2	1400x1050	65.350	60.120	
SXGA+ 3	1400x1050	65.120	59.900	

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	
MAC21	1152x870	68.68	75.06	
MAC	1280x960	75.00	75.08	
MAC	1280x1024	80.00	75.08	
WXGA1	1366x768	48.36	60.00	
WXGA2	1360x768	47.70	60.00	
WXGA3	1376x768	48.36	60.00	
WXGA4	1360x768	56.16	72.00	
WXGA6	1280x768	47.776	59.870	
WXGA7	1280x768	60.289	74.893	
WXGA8	1280x768	68.633	84.837	
WXGA9	1280x800	49.600	60.050	
WXGA10	1280x800	41.200	50.000	
WXGA 11	1280x800	49.702	59.810	
WUXGA 1	1920x1200	74.556	59.885	
WUXGA 2	1920x1200	74.038	59.950	
WSXGA+ 1	1680x1050	65.290	59.954	
WXGA+ 1	1440x900	55.935	59.887	
WXGA+ 2	1440x900	74.918	60.000	
UXGA1	1600x1200	75.00	60.00	✻1
UXGA2	1600x1200	81.25	65.00	✻1
UXGA3	1600x1200	87.5	70.00	✻1
UXGA4	1600x1200	93.75	75.00	✻1
720p	1280x720	37.50	50.00	
720p	1280x720	45.00	60.00	
1035i	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	33.75	60.00	
1080i	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	33.75	60.00	
1080i	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	28.125	50.00	

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。
※ ドットクロックが 140MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。
※ SXGA、WXGA、UXGA、MAC21、MAC、720p、1035i、1080i の信号を投映するときは、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

✻1：「PC 調整」メニュー内で調整できないメニューが生じる場合があります。

メニュー内容一覧

入力

画質調整

サウンド

システム：コンピュータ入力
SVGA 1
システム (1)
XGA 1
モード 1
モード 2
- - - -
※ 表示される内容は、入力された信号によって異なります。詳しくはコンピュータシステムモード一覧を参照してください（P.93 ～ 95）
システム：ビデオ入力
Auto
システム (2)
Auto
PAL
SECAM
NTSC
NTSC 4.43
PAL-M
PAL-N
Auto
システム (3)
Auto
1080p
1080i
1035i
720p
575p
480p
575i
480i
画質モード：コンピュータ入力
画質モード
ダイナミック
標準
リアル
黒（緑）板
カラーボード
赤
青
黄
緑
イメージ 1
イメージ 2
イメージ 3
イメージ 4
画質モード：ビデオ入力
画質モード
ダイナミック
標準
シネマ
黒（緑）板
カラーボード
赤
青
黄
緑
イメージ 1
イメージ 2
イメージ 3
イメージ 4
スクリーン：コンピュータ入力
スクリーン
ノーマル
リアル
ワイド
フル
カスタム
スケール
H/V
H & V
オン / オフ
ポジション
H/V
共通
はい / いいえ
リセット
はい / いいえ
デジタルズーム +
デジタルズーム –
スクリーン：ビデオ入力
スクリーン
ノーマル
ワイド
カスタム
スケール
H/V
H & V
オン / オフ
ポジション
H/V
共通
はい / いいえ
リセット
はい / いいえ

設定（第一画面）

設定
（第一画面）
言語
英語
ドイツ語
フランス語
イタリア語
スペイン語
ポルトガル語
オランダ語
スウェーデン語
フィンランド語
ポーランド語
ハンガリー語
ルーマニア語
ロシア語
中国語
韓国語
日本語
タイ語
メニュー位置
オートセットアップ
自動入力切換
オフ / オン 1 / オン 2
自動 PC 調整
オン / オフ
オートキーストーン
オフ / 手動 / 自動
キーストーン
標準
コーナー補正
コーナーパターン
赤 / 白 / 青 / オフ
メモリー
メモリー / リセット
バックグラウンド
青 / ユーザー / 黒
オンスクリーン表示
オフ / カウントダウンオフ / オン
ロゴ
ロゴ選択
オフ / 初期設定 / ユーザー
キャプチャー
はい / いいえ
ロゴ暗証番号ロック
オン / オフ
ロゴ暗証番号変更
天吊り
オン / オフ
リア投映
オン / オフ
パワーマネージメント
待機 / シャットダウン / オフ
1 ～ 30（タイマー：分）
オンスタート
オン / オフ
クローズドキャプション
クローズドキャプション
オフ / CC1 / CC2 / CC3 / CC4
カラー
カラー / ホワイト
スタンバイモード
エコ / ネットワーク

設定（第二画面）

PC 調整

PC 調整

- 自動 PC 調整
- トラッキング
- 総ドット数
- 水平位置
- 垂直位置
- クランプ
- 画面領域 H
- 画面領域 V
- リセット ― はい / いいえ
- データ消去
  - モード 1
  - モード 2
  - モード 3
  - モード 4
  - モード 5
- メモリー
  - モード 1
  - モード 2
  - モード 3
  - モード 4
  - モード 5

インフォメーション

インフォメーション

- インプット
  - 入力
  - 信号
- 水平周波数
- 垂直周波数
- スクリーン
- 言語
- ランプモード
- ランプコントロール
- パワーマネージメント
  - 状態
  - タイマー時間
- キーロック
- 暗証番号ロック
- リモコンコード

仕様

プロジェクター本体

型名	LP-XU106
種類	液晶プロジェクター
表示方式	液晶パネル 3 枚 3 原色液晶シャッター方式
液晶パネル	サイズ : 0.8 型 x 3　アスペクト比 4:3 駆動方式 : ポリシリコン TFT アクティブマトリクス 画素配列 : ストライプ 画素数 :786,432 画素 (1,024 × 768) × 3 枚 総画素数 2,359,296 画素
投映レンズ	1.6 倍ズームレンズ　F=1.7 ～ 2.5　f=19.2 ～ 30.2 mm
光源	275W UHP ランプ
画面サイズ	最小 40 ～最大 300 型（0.93m ～ 11.5m）
ズーム / フォーカス調整	手動
入出力 COMPUTER IN 1/2	アナログ RGB 入力 (入力 2 系統）: ミニ D-sub 15 ピン アナログ RGB 信号 :0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75 Ω 水平・垂直同期 :TTL レベル、負または正極性 (G 信号中のコンポジット同期 : 0.3Vp-p、負極性、インピーダンス 75 Ω)
COMPONENT IN	コンポーネント : セパレート Y Cb/Pb Cr/Pr 信号、ミニ D-sub 15 ピン Y ; 1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω Cb / Pb ; 0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω Cr / Pr ; 0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω
MONITOR OUT	アナログ RGB 出力 (出力 1 系統): ミニ D-sub 15 ピン
VIDEO IN	映像 : ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω
S-VIDEO IN	S 映像 : セパレート YC 信号、ミニ DIN 4 ピン Y ; 1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω C ; 0.286Vp-p (バースト信号)、インピーダンス 75 Ω
音声 AUDIO IN	ピンジャック、400mVrms、インピーダンス 47K Ω以上 (左モノ：右)
AUDIO IN COMPUTER 1/2	ミニジャック (ステレオ) X 2、400mVrms、インピーダンス 47K Ω以上
AUDIO OUT （可変）	（コンピュータ / ビデオ兼用）：ミニジャック（ステレオ）、可変出力、インピーダンス 1K Ω以下
制御入出力、他	コントロールポート：D-sub 9 ピン LAN 端子：RJ-45, 10 Base-T (100 Base-TX 互換)
音声出力	モノラル　1W (JEITA)
スピーカ	2.8 cm 円形 1 個
走査周波数	水平 15k ～ 100kHz、垂直 50 ～ 100Hz

カラーシステム	6 システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	354W、327W、284W (ランプモード「ハイ / ノーマル / エコ」時) 待機中消費電力：8.0W/0.5W（スタンバイモード「ネットワーク / エコ」時）
本体寸法	幅 334.2 ×高さ 78.4 ×奥行 257.5 mm (突起物を含まず)
質量	3.4 Kg

リモコン

電源	DC3.0V　単 4 形アルカリ乾電池 2 本使用
到達距離	約 5m (受信部正面)
本体寸法	幅 52 ×高さ 18 ×奥行 110 mm
質量	67.0g (電池を含む)

付属品

- ■ リモコン（CXZR）…………………………………… 1 個
- ■ リモコン用アルカリ乾電池（単 4 形）……………… 2 本
- ■ 電源コード …………………………………………… 1 本
- ■ 電源プラグアダプタ ………………………………… 1 個
- ■ コンピュータケーブル（D-sub 用）………………… 1 本
- ■ 取扱説明書 …………………………………………… 3 冊 (本書 1、別冊 2)
- ■ 保証書
- ■ お客さまご相談窓口一覧 …………………………… 1 枚
- ■ レンズキャップ ……………………………………… 1 個
- ■ レンズキャップ用ひも ……………………………… 1 本
- ■ CD-ROM (ネットワークアプリケーション) ……… 1 枚
- ■ PIN code lock シール ……………………………… 1 枚
- ■ キャリングケース …………………………………… 1 個

別売品

- ■ 天吊金具用ベース金具 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CHB-XU110
- ■ 高天井用天吊金具・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CHL-UL01
- ■ 低天井用天吊金具・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CHS-US01
- ■ D-sub / コンポーネント ケーブル・・・・・・・・・・ 品番：POA-CA-COMPVGA
- ■ ミニ D-sub 延長 ケーブル（10m） ・・・・・・・・・ 品番：KA-MC-DB10

液晶パネルについて

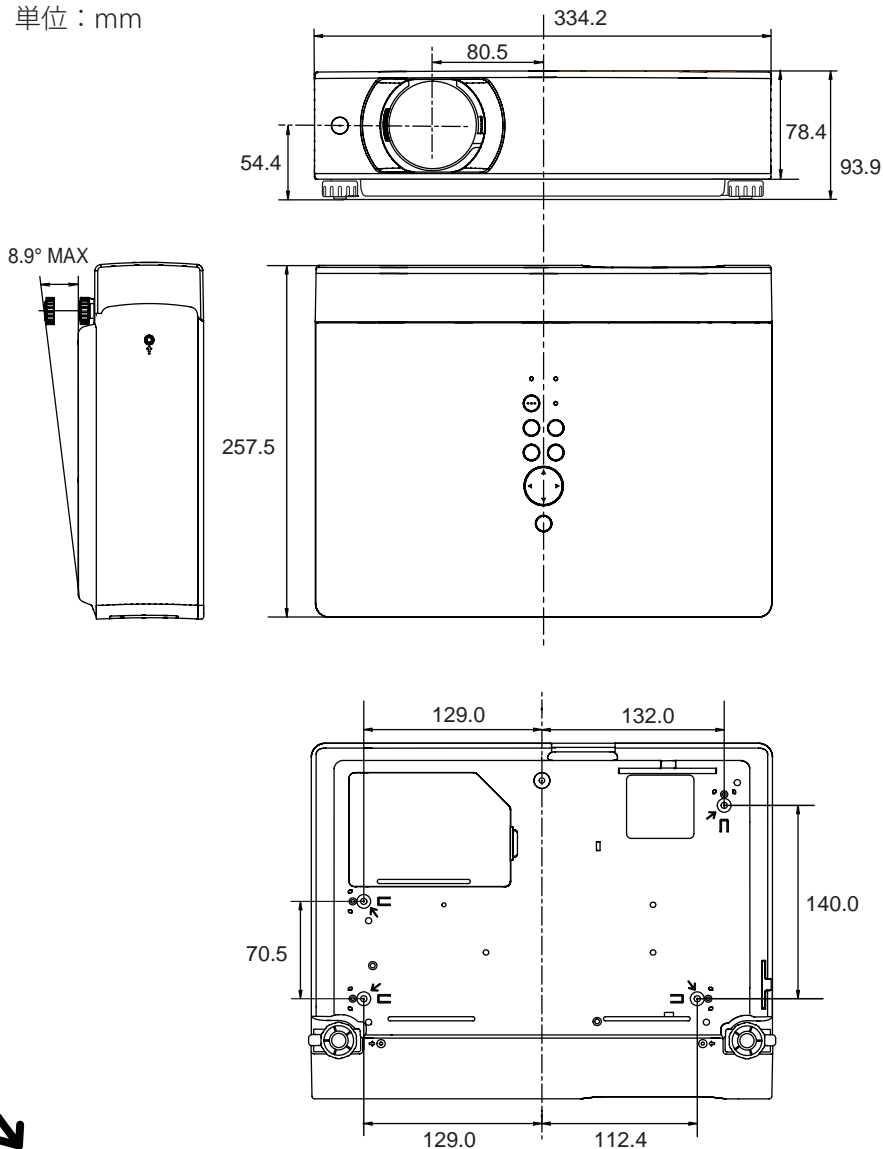
液晶パネルの特性上､長時間同じ画面を表示していると､画面を変えたときに残像（焼き付きのような症状）が発生する場合があります。映す映像を変えたり、電源を切っておくと回復します。

※ 高調波電流規格　JIS C 61000-3-2:2005 適合品

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。投映中 0.01 % 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

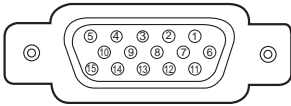
※ このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
※ 仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
※ 説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

寸法図

単位：mm

天吊り金具用のビス穴
ビス径：M4
深さ　：12mm

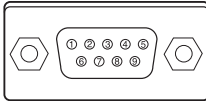
端子の仕様

COMPUTER IN 1 / 2 / MONITOR OUT (コンピュータ入力 / モニター出力端子)

コンピュータからのアナログ RGB 出力を接続したり、コンピュータへアナログ RGB 出力を出したりする端子です。接続にはコンピュータケーブル（D-sub 用）をご使用ください。

ピン	信号	ピン	信号
1	R 入出力	9	＋ 5V パワー / 未接続
2	G 入出力	10	接地（垂直同期）
3	B 入出力	11	接地
4	未接続	12	DDC データ / 未接続
5	接地（水平同期）	13	水平同期 入出力 （ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ：水平垂直同期）
6	接地 (R)		
7	接地 (G)	14	垂直同期 入出力
8	接地 (B)	15	DDC クロック / 未接続

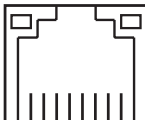
CONTROL PORT /RS232C（コントロールポート出力端子）

シリアルでコンピュータ機器からプロジェクターを操作するときに、コンピュータ機器との接続に使用する端子です。

D-sub 9 ピン

ピン	信号	ピン	信号
1	未接続	6	未接続
2	RXD	7	RTS
3	TXD	8	CTS
4	未接続	9	未接続
5	SG		

LAN (ネットワーク接続端子)

有線 LAN 端子を接続します。

LAN コネクター

ピン	信号	ピン	信号
1	TX +	6	未接続
2	TX -	7	RX -
3	RX +	8	未接続
4	未接続	9	未接続

暗証番号を忘れるとプロジェクターの操作ができなくなります

暗証番号を忘れると、プロジェクターの操作ができなくなります。以下の記入欄に登録した暗証番号を書き留めておくことをおすすめします。ただし、第三者に見られたり、持ち出されたりしないように、取扱説明書は大切に保管してください。暗証番号がわからなくなってしまったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

暗証番号ロック の暗証番号

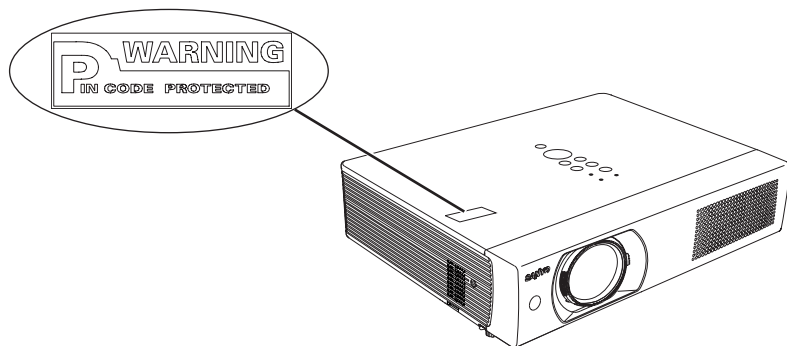
工場出荷時の暗証番号：１２３４*

ロゴ暗証番号ロック の暗証番号

工場出荷時の暗証番号： ４３２１*

*暗証番号を変更された場合は、工場出荷時の暗証番号は無効になります。

暗証番号が登録されていることをシールでわかるようにしましょう

暗証番号を登録し、暗証番号ロックを有効にしているとき、付属のシールを本体の目立つところへ貼り付けます。

PJ LINK について

このプロジェクターは JBMIA (Japan Business Machine and Information System Industries Association : 社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会）の PJLink 標準定義の Class 1 に準拠しています。 このプロジェクターは、PJLink Class 1 によって定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink 標準定義 Class 1 との適合を検証しています。
PJ Link で使用するパスワードは、ネットワークのシステムパスワードと同じになっております。詳しくは取扱説明書（別冊）の「6. 基本操作・設定」の「PJLink 及びパスワードの設定」をご覧ください。パスワード無しで使用する場合は、PJLink のパスワードを無しに設定してください。

本プロジェクターの入力名と PJ Link の入力名の対応表

プロジェクターの入力名		PJ Link 入力名	パラメータ
コンピュータ 2	RGB (Analog)	RGB 1	11
コンピュータ 1	RGB (Analog)	RGB 2	12
	Component	RGB 3	13
	RGB (Scart)	RGB 4	14
ビデオ	Video	VIDEO 2	22
	S-video	VIDEO 3	23

2003 年 9 月、データプロジェクター部会の中に、PJLink 分科会が設立されました。この PJLink 分科会の第 1 期の活動において、プロジェクターの新たなインターフェイス仕様として PJLink が規定されました。PJLink はプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。メーカーを問わずに、プロジェクターの集中管理やコントローラーからの操作を実現します。今後主流となるネットワーク経由のプロジェクター監視・制御において、早期の体系化を JBMIA による推進で実現し、ユーザーの利便性をあげ、プロジェクターの普及促進を図ることを目的としています。

CLASS 1 : プロジェクターの基本機能の制御・監視仕様を標準化
基本的なプロジェクター制御 : 電源制御、入力切り換えなど
プロジェクターの各種情報・状態を取得 : 電源状態、入力切り換え状態、エラー状態、ランプ使用時間など
JBMIA : 社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
1960 年に発足した日本事務機械工業会が、2002 年 4 月 1 日より改称した団体です。

PJLink は JBMIA の登録商標です。

PJLink サイト URL　http://pjlink.jbmia.or.jp

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日から、
本体・・・・・・1年間
ただし光学部品（液晶パネル、偏光板、PBS）については、１年間またはご使用時間１，５００時間のどちらか早い方
光源ランプ・・・ランプ使用時間５００時間

■保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に

「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでもなおらない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

● お客さまのお名前
● ご住所、お電話番号
● 商品の品番
● 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年保有しています。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検	● 長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！	熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客さまメモ

品　番	LP-XU106
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さまご相談窓口	☎

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

三洋電機株式会社
デジタルシステムカンパニー
プロジェクター事業部
商品統括部　国内販売部
〒574 - 8534 大阪府大東市三洋町１ - １

取扱説明書 XU106
1LG6P1P0512-- (KB8CC)